

1410迄 (1306件)

1391年-08:00|モンゴル| |||<死去>モンゴル帝国(北元) 皇帝「イェスデル」
1391年-08:00|モンゴル| |||<即位>モンゴル帝国(北元) 皇帝「エンケ」(~1394年没)
1391年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラン国王「ティワリット」(~1392年)
1391年-05:30|スリランカ| |||<即位>ガンボウ王国国王「Vira Bahu2世」(~1397年)
1391年-05:30|インド| |||<即位>グジャラート・スルターン朝スルターン「Muzaffar Shah1世(Zafar Khan)」(~1403年)
1391年-05:30|インド| |||<即位>サマ朝スルタン「Jam Ali Sher」(~1398年)
1391年-05:30|インド| |||<即位>ムファリド朝スルタン「Muzaffar Shah1世」(1期目~1403年)
1391年-03:30|イラン| |||<即位>パダスパニド朝君主「Sa'd al-Dawla Tus」(~1394年)
1391年-03:30|イラン| |||<即位>ムサッファル朝スルタン「シャー・マンズール」(~1393年捕虜となり処刑された)
1391年-03:30|イラン| |||<廃位>ムサッファル朝スルタン「シャー・ヤフヤー」弟のシャー・マンズールに背かれる
1391年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「マッテオ・ジユスティニアニ」(~1393年)
1391年-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・ツェルプスト候「Waldemar3世」
1391年-01:00|ドイツ| |||<死去>ハーデーン=ハーデーン辺境伯「ルトルフ7世」
1391年-01:00|ドイツ| |||<死去>マルク伯「エンゲルベルト3世」
1391年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>カトリ伯「ジョルジョ・ダ・ザラ」(~1399年)
1391年-01:00|ドイツ| |||<就任>マルク伯「アドルフ3世」クレフェ伯(~13940907死去)
1391年-01:00|モンテネグロ| |||カトリは独立した都市国家(~1420年)
1391年-01:00|クアチア/ハンガリー| |||ハンガリーによるダルマチアのスピリット統治(~1420年)
1391年 00:00|イギリス| |||<死去>10代マー女伯「マーガレット」
1391年 00:00|イギリス| |||<就任>11代マー女伯「イザベル・ダークラス」(~1404年)
1391年 00:00|フェロー諸島/ノルウェー| |||フェロー諸島はノルウェーの家臣としてのオーケー伯爵のヘンリー・シンクレア卿の封建領地の一部(~1400年)
1391年1月16日-01:00|スペイン| |||<死去>グアラタ王国ナシル朝アミール「ムハンマド5世」
1391年1月16日-01:00|スペイン| |||<即位>グアラタ王国ナシル朝アミール「ユースフ2世」(~13921003死去)
1391年2月5日-09:00|日本| ||元中8; 明德2年|<交替>加賀国守護「斯波義重」⇒甥の「斯波義重」(~明德4(1393)年7月10日)
1391年2月5日-09:00|日本| ||元中8; 明德2年|<任命>尾張国知多郡守護「一色詮範」(~不詳)
1391年2月5日-09:00|日本| 静岡県伊豆市|元中8; 明德2年|金龍院明德寺創建「うすさま明王堂」(トイレの神様)
1391年2月5日-08:00|中国| ||明・洪武24年|<即位>タライ・ラマ「1世ゲントゥン・ドゥパ」(~1474年)
1391年2月16日-02:00|トルコ| |||<死去>ニカイア帝国皇帝「ヨハネス5世パレオロゴス」
1391年2月16日-02:00|トルコ| |||<即位>ニカイア帝国皇帝「マヌエル2世パレオロゴス」ヨハネス5世とヘレー・カンタケネの次男(~14250721死去)
1391年2月24日-09:00|日本| 京都府京都市上京区|元中8; 明德2年1月20日|山名氏清・満幸らが入京し、内野で幕府軍に敗れる
1391年3月-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ伯「アントニオ・Chiaromonte, conte di Modica」(~13920402死去)
1391年3月10日-01:00|ポズナ・ヘルツェゴビナ| |||<即位>ポズナ王「ステパン・ダビシヤ」(~13950907死去)
1391年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョバンニ・デ・イ・フランシスコ」(メック・ツォ・デ・イ・シモニーノ)
1391年4月6日-01:00|イタリア| |||<再任>ジェノヴァ共和国ドーージェ「アントニオット1世アドルノ」(3期目~13920616)
1391年4月11日-01:00|イタリア| |||ベネツィア、トレヴィゾンタと通商協約
1391年4月16日-09:00|日本| ||元中8; 明德2年3月12日|<辞任>室町幕府管領「斯波義将」越前に下向
1391年5月12日-09:00|日本| ||元中8; 明德2年4月8日|<任命>室町幕府管領「細川頼元」(~明德4(1393)年6月5日)
1391年6月-04:00|ロシア/ウズベキスタン| |||ティムール軍がガウガ河を遠征、クントゥズ・チャの戦いでティムールはトクタмышに大勝利
1391年6月3日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・洪武23年5月|高麗、李成桂らが科田法制定
1391年8月1日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国元首「フォ伯爵ガストン3世」
1391年8月1日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国元首「フォ伯爵マテ」(~1398. 8死去)
1391年8月1日-09:00|日本| 大阪府大阪市平野区|元中8; 明德2年7月|大阪大念仏寺の版画融通念仏縁起二巻できる
1391年8月1日-09:00|日本/中国| 沖縄県|元中8; 明德2年7月|汪英紫、山南王の船を借りて、山南王叔として明に進貢
1391年8月30日-09:00|日本| ||元中8; 明德2年8月|<任命>日向国守護「島津元久」(~応永18年8月6日(14110825)死去)
1391年8月30日-09:00|日本| 熊本県八代市|元中8; 明德2年8月|今川了俊、八代城の名和顕興と征西大將軍良成親王を降伏させる
1391年9月7日-09:00|日本| ||元中8; 明德2年8月9日|<死去>細川頼有(生年1332年/元備後国・阿波国守護)
1391年9月27日-09:00|日本/朝鮮| ||元中8; 明德2年8月29日|今川了俊、68人の朝鮮人送還
1391年9月29日-09:00|日本| ||元中8; 明德2年9月|<交替>山城国守護「赤松義則」⇒<再任>「山名氏清」(~同年12月30日死去)
1391年10月1日-01:00|ベルギー| |||<死去>デュール伯「ギヨーム1世」
1391年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マシオ・デ・イ・トソ」(「ルナルデ・イ・ノ・デ・イ・ベルナルド」)
1391年10月1日-01:00|ベルギー| |||<就任>デュール伯「ギヨーム2世」ギヨーム1世の子(~14180110死去)
1391年10月3日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 判事「ミース司教アレクサンダー・デ・バルスコット」(2回目~13921008)

1410迄 (1306件)

1391年10月27日-09:00|日本|熊本県八代市|元中8; 明德2年9月29日|今川了俊、八代古麓城攻略して肥後の平定を完了/征西将軍良成親王は筑後矢部の山間に逼塞

1391年10月28日-09:00|日本| ||元中8; 明德2年10月|<交替>伊勢・志摩国守護「仁木満長」⇒「土岐康行」再任(〜明德3・元中9 (1392) 年正月)

1391年11月1日-01:00|フランス/イタリア| ||<死去>サヴォイア伯「アメー・オ7世」

1391年11月1日-01:00|フランス/イタリア| ||<就任>サヴォイア伯「アメー・オ8世」(⇒1416年サヴォイア公〜1440年〜14510107死去)

1391年11月2日-03:00|イェメン| ||<死去>ラッシー朝イマーム「アルナジール・ムハンマド・サラール・アルディン」

1391年11月2日-03:00|イェメン| ||<即位>ラッシー朝イマーム「アルマンサー・アリ」(〜1436年死去)、「アルマディ・アフマド・ビン・ヤーヤ・ビン・アルムルタダ」(〜1392年〜1436年死去)

1391年11月4日-09:00|日本|大分県豊後大野市|元中8; 明德2年10月8日|五条頼治、大友親氏らの軍を豊後国津江大野に撃破

1391年11月5日-09:00|日本|福岡県|元中8; 明德2年10月9日|筑後の兵、泉山を攻め、南党五条頼治・黒木四郎、防戦しこれを破る

1391年11月7日-09:00|日本| ||元中8; 明德2年10月11日|<死去>飛騨国守護「京極(佐々木)高秀」64歳/子の高詮が継承(〜応永8年9月7日 (14011014) 死去)

1391年11月7日-09:00|日本|福岡県筑後市|元中8; 明德2年10月11日|南党五条頼治・黒木定善、調山の北軍を撃破して赤坂に向かう

1391年11月12日-09:00|日本|京都府京都市|元中8; 明德2年10月16日|午刻京都で大地震/歩行困難という/殿舎倒壊して死傷者無数

1391年12月-02:00|ルーマニア| ||<死去>モルダヴィア総督「ピョートル2世ムサット」

1391年12月-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「ロマ1世ムサット」(〜1394年12月死去)

1391年12月4日-09:00|日本| ||元中8; 明德2年11月8日|<解任>丹後・伯耆・出雲・隠岐国守護「山名満幸」京都から追放

1391年12月26日-09:00|日本| ||元中8; 明德2年12月|<任命>能登国守護「畠山基国」(〜応永13年1月17日 (14060205) 死去)

1392年-06:30|ミャンマー| ||<即位>アラカン国王「シンセ」(〜1394年)

1392年-04:00|ジョージア| ||<死去>イメレティ王「ジョージ1世」グルジア王国に併合

1392年-04:00|ロシア| ||<即位>モモンスク公「ゲレフ・スガヤトスラヴィチ」(〜1395年)

1392年-04:00|ロシア| ||<即位>スズダリとニジニ・ノヴゴロドがモスクワに併合

1392年-03:00|ベラルーシ| ||<即位>ムスチスラヴィリ公「レグダヴィエニス」(〜1431年)

1392年-02:00|トルコ| ||<即位>オスマン帝国がテッサリアに再侵攻しテッサリアを占領(〜1393年)

1392年-01:00|クロアチア| ||<就任>スラヴォニア全土のバン「ラドイスラフ・ペトロフ」(〜同年)⇒「イワン・ホルヴァット」(〜1394年)

1392年-01:00|フランス| ||<即位>オルアン公(ガエロワ=オルアン家)ルイ1世(〜14071123)

1392年-01:00|ドイツ| ||<即位>メクレンブルク公(メクレンブルク=シュトルプ系)ヨハン2世[ヨハン1世の息子](〜1416年)ウルリヒ1世[ヨハン1世の息子](〜1417年)アルブレヒト1世[ヨハン1世の息子](〜1397年)共同統治

1392年-01:00|オーストリア/ドイツ| ||<領地変更>下バリエルン=ランツフート公「シュテファン3世」⇒上バリエルン=インゴルシュタット公(〜14130926死去)

1392年-01:00|オーストリア/ドイツ| ||<領地変更>下バリエルン=ランツフート公「ヨハン2世」⇒上バリエルン=ミュンヘン公(〜1397年死去)

1392年-01:00|アルバニア/トルコ| ||<即位>オスマン朝がアルバニアを攻略

1392年 00:00|イギリス| ||<就任>10代オックスフォード伯「オブリー・ド・グィー」先代の叔父(〜14000215死去)

1392年1月20日-09:00|日本|京都府|元中8; 明德2年12月26日|<明德の乱>丹波・和泉・山城・但馬守護の山名氏清と丹後の山名満幸、将軍足利義満にそむき南朝に降り挙兵

1392年1月21日-01:00|オーストリア/ドイツ| ||<死去>下バリエルン=シュトラubeン公「アルブレヒト2世」

1392年1月24日-09:00|日本| ||元中8; 明德2年12月30日|<死去>山城・但馬国守護「山名氏清」

1392年1月24日-09:00|日本|京都府|元中8・明德2年12月30日|<死去>丹波国守護「山名氏清」

1392年1月24日-09:00|日本|京都府京都市|元中8; 明德2年12月30日|<内野合戦>早朝、山名氏清の弟山名義数、小林上野守の700騎が二条大宮に攻め寄せて、大内義弘の300騎と激突して合戦が始まった/大内義弘は小林上野守と一騎討ちをして負傷しながらもこれを討ち取る/山名義数も討死、山名軍は緒戦で敗れてしまう/次いで、満幸の軍勢2000騎が内野へ突入し守る幕府軍は細川頼之・頼元兄弟、畠山基国、京極高詮の3000騎で激戦となるが、義満の馬廻5000騎が投入されて勝敗は決し、敗れた満幸は丹波へ落ちた/氏清の軍勢2000騎は二手に分かれて突入。大内義弘、赤松義則の軍勢と衝突する。氏清は奮戦して大内、赤松の軍勢を撃退、一色氏と斯波義重の軍勢が加勢して幕府軍は盛り返し氏清の軍勢は潰走、氏清は一色詮範・満範父子に討ち取られた(幕府軍の死者は260人余、山名軍の死者は879人)

1392年1月25日-09:00|日本|広島県尾道市|元中9; 明德3年|この頃、「白描遊行上人絵」(常称寺蔵)成る

1392年1月25日-08:00|中国| ||明・洪武25年|<死去>モグリスチン・ハン国ハン「カマルディン」

1392年1月28日-09:00|日本| ||元中9・明德3年1月4日|<交替>伊勢・志摩国守護「土岐康行」解任⇒「仁木満長」(〜応永3 (1396) 年7月更迭)

1392年1月28日-09:00|日本| ||元中9; 明德3年1月4日|<交替>紀伊国守護「山名義理」没収⇒「大内義弘」(〜応永6年12月21日 (14000117) 死去)

1392年1月28日-09:00|日本| ||元中9・明德3年1月4日|<交替>尾張国守護「土岐満貞」解任⇒「畠山深秋」(〜明德4 (1393) 年)

1392年1月28日-09:00|日本| ||元中9; 明德3年1月4日|<交替>和泉国守護「山名氏清」⇒「大内義弘」(〜応永6年12

1410迄 (1306件)

月21日 (14000117) 死去)

1392年1月28日-09:00|日本| ||元中9・明德3年1月4日|<任命>安芸国守護「細川頼元」(~明德4(1393)年6月)
1392年1月28日-09:00|日本| ||元中9;明德3年1月4日|<任命>因幡国守護「山名氏家」反乱に加わったが降伏して
許された(~応永7(1400)年6月)
1392年1月28日-09:00|日本| ||元中9・明德3年1月4日|<任命>隠岐国・出雲国守護「佐々木高詮」
1392年1月28日-09:00|日本| ||元中9;明德3年1月4日|<任命>山城国守護「畠山基国」(~明德5(1394)年)
1392年1月28日-09:00|日本| ||元中9;明德3年1月4日|<任命>摂津国西成郡守護「結城満藤」、住吉郡守護「大内義
弘」、東成郡守護「畠山基国」
1392年1月28日-09:00|日本| ||元中9;明德3年1月4日|<任命>但馬国守護「山名時熙」(~永享5(1433)年8月9日隠
居)
1392年1月28日-09:00|日本| ||元中9;明德3年1月4日|<任命>丹後国守護「一色満範」(~応永16(1409)年1月6日死
去)
1392年1月28日-09:00|日本| ||元中9;明德3年1月4日|<任命>美作国守護「赤松義則」(~応永34年9月21日(142710
11)死去)
1392年1月28日-09:00|日本|京都府|元中9;明德3年1月4日|<就任>丹波国守護「細川頼元」(~応永4年5月7日(13970
602)死去)
1392年2月11日-09:00|日本|大阪府南河内郡千早赤阪村|元中9;明德3年1月18日|畠山基国、楠木正勝を河内国千
剣破城に撃破し吉野へ走らせる
1392年2月23日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・洪武24年2月|高麗、奴婢決訟法を定める
1392年3月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| ||<就任>トランシルヴァニア総督「イムレ・ベ・ベック」(~1393年9月)
1392年3月15日-01:00|ドイツ| ||<死去>ヴェルテンベルク伯「エーハート2世」
1392年3月15日-01:00|ドイツ| ||<就任>ヴェルテンベルク伯「エーハート3世」(~14170516死去)
1392年3月19日-09:00|日本|和歌山県海南市|元中9;明德3年2月25日|山名義理、紀伊藤代城を去り、由良に奔す
1392年3月20日-09:00|日本|和歌山県日高郡日高川町|元中9;明德3年2月26日|南朝、野上親成をして山名義理を
救援せしめようとし、大内軍と和佐山に戦う/南軍破れて湯浅城に退き、親成、大内氏に降る
1392年3月22日-09:00|日本|福島県会津若松市|元中9;明德3年2月28日|<死去>日什上人(黒川妙法寺開祖)会津黒
川にて/79歳
1392年3月24日-09:00|日本| ||元中9;明德3年3月|<交替>対馬国守護「宗澄茂」⇒「宗頼茂」(~応永5(1398)年4月
から12月)
1392年3月25日-09:00|日本| ||元中9;明德3年3月2日|<死去>備後・阿波・讃岐・土佐国守護・備中半国守護「細川
頼之」69歳
1392年3月25日-09:00|日本| ||元中9;明德3年3月2日|<任命>阿波国守護「細川義之」(~応永9(1402)年)
1392年3月25日-09:00|日本| ||元中9;明德3年3月2日|<任命>讃岐・土佐国守護「細川頼元」(~応永4年5月7日(139
70602)死去)
1392年3月25日-09:00|日本| ||元中9;明德3年3月2日|<任命>備後国守護「細川頼長・基之」(~応永7(1400)年)
1392年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「パオロ・デ・イ・チェッコロ」「シモーネ・デ・イ・ベッツォ」
1392年4月2日-01:00|マルタ| ||<死去>マルタ伯「アントニア・Chiaromonte, conte di Modica」
1392年4月2日-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ伯「Guglielmo Raimondo de Moncada」(1期目~6.1)
1392年4月11日-01:00|イタリア| ||ボローニャ同盟が結成される
1392年4月29日-09:00|日本|福岡県宗像市|元中9;明德3年4月7日|今川了俊、宗像大宮司に、筑前国宗像社を造営
1392年5月14日-09:00|日本| ||元中9;明德3年4月22日|<交替>関東管領「上杉(山内)憲方」退任⇒「上杉(山内)憲
孝」(~応永元(1394)年11月3日死去)
1392年5月23日-09:00|日本|沖縄県|元中9;明德3年5月|中山王察度、浦添按司を武寧に譲り、首里の隠居屋敷「首
里天閣」に移る
1392年6月1日-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ伯「Artale d'Alagona」(~1394年)
1392年6月4日-01:00|フランス| ||<即位>オルアン公「ルイ1世」トゥーレーヌ公(~14071123、ブルゴーニュ公の刺客に殺された/35歳
)
1392年6月16日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「アントニオ・モンタルド」(1期目~13930715)
1392年7月-05:00|ウズベキスタン/イラク| ||ティムールはペルシア再征服戦争開始/最初にマザンダーランに進軍し、カスピ海沿岸の
マハナ・サル要塞を攻略して同地を制圧
1392年7月4日-01:00|チェンブリア/イタリア| ||ベネチア、チェンブリアとの通商協定
1392年7月4日 00:00|イギリス| ||<死去>スタッフォード伯「Thomas Stafford」
1392年7月4日 00:00|イギリス| ||<就任>スタッフォード伯「William Stafford」(~13950406死去)
1392年8月5日-02:00|リトアニア| ||<退位>リトアニア大公「ヴァレイスラウス」⇒リトアニア最高指導者(~14340601死去)
1392年8月5日-01:00|フランス| ||フランス王シャルル6世、ブルゴーニュに向かう途中、ルマンの森で幻覚に襲われる(精神錯乱)/
突然、王弟「オルアン公」ルイ(ルイ・ド・ヴァロワ)を突き刺そうとする/護衛の部下4人に斬りつけ殺害
1392年8月5日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・洪武24年7月17日|<即位>李氏朝鮮国王「太祖(李成桂)」建国(~1398101
4退位)
1392年8月5日-09:00|朝鮮| ||高麗・洪武24年7月17日|<廃位>高麗王「恭讓王」李成桂に廃され高麗滅亡
1392年8月6日-09:00|日本|愛知県蒲郡市|元中9・明德3年7月17日|平教、三河国八剣社の如来像を造立
1392年8月18日-01:00|アルバニア| ||<死去>アルバニア公・デュラツォ領主「ジェルジ・カルトピア」
1392年8月18日-01:00|アルバニア/イタリア| ||<就任>ヴェネチアのデュラツォ執達吏・長官「マリノ・コッコ」(~同年)⇒「パオロ・ダ・カ

1410迄 (1306件)

ル] (~1393年)

1392年8月18日-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ゲェツィアのデ・ラツツォがゲェツィアに割譲され、アルバニア・ゲェツィアの一部として統治される (~15010817)

1392年9月15日-09:00|日本|京都府京都市上京区|元中9・明德3年8月28日|<創建>相国寺<臨済宗相国寺派大本山>足利尊氏、夢窓疎石

1392年9月17日-09:00|日本|大阪府藤井寺市|元中9・明德3年9月|祐円、河内国剛林寺の涅槃像を描く

1392年9月17日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|元中9・明德3年9月|駒形神社 (浜松市佐藤町) 創立

1392年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「サン・リーノ・デ・イ・ジ・ヨヴァンニ」(「ジ・ヤンニ・ノ・デ・イ・カヴァッリツォ」)

1392年10月3日-01:00|スペイン| |||<死去>グ・ラタ王国ナサル朝アミール「ユースフ2世」

1392年10月3日-01:00|スペイン| |||<即位>グ・ラタ王国ナサル朝アミール「ムハンマド7世」 (~14080513死去)

1392年10月8日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 判事「オモント 伯ジェイムズ・ハートレー」 (~13941002)

1392年11月-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パ・ラタイン「ロイスターク・ヨルスヴァイ」 (~1397年6月)

1392年11月19日-09:00|日本| ||明德3年閏10月5日|南朝の元号である元中が廃止

1392年11月19日-09:00|日本|京都府京都市|明德3年閏10月5日|<南北朝の合一>南朝の後亀山天皇が吉野から京都に帰還して、北朝の後小松天皇に三種の神器を譲って退位し上皇となる

1393年-04:00|ジョージア| |||<死去>グルジア国王「バグラト5世」

1393年-04:00|ジョージア| |||<即位>グルジア国王「ジョージ7世」 (~1407年)

1393年-03:30|イラン| |||<死去>ムザッファル朝スルターン「シャー・マンズール」捕虜となり処刑された

1393年-03:00|ペラルーシ| |||<即位>グ・イェフ・スク公「グ・イェ・タタス」 (~1393年)

1393年-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アルハデ・イ・アリ・ビン・アルムヤート」 (~14320906死去)

1393年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ゲェツィアのカンデ・イア公「パンタレオネ・ハルボ」 (~1395年)

1393年-02:00|ウクライナ/ロシア/ペラルーシ| |||<復位>チェルニヒウ大公 (フ・リヤンスク公)「ロ・マン2世・ミハイル・イチ」 (~1401年リトアニアによる併合)

1393年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ゲェツィアのデ・ラツツォ執達吏・長官「フランチェスコ・ジ・ヨルジヨ」 (~1395年)

1393年-01:00|ドイツ| |||<就任>フェルデ・ツツ伯「Frederick3世」 (~1444年死去)

1393年-01:00|アルジェリア| |||<即位>ザ・イヤーン朝スルターン「アブー・タヒト2世」 (~同年) => 「アブー・ハデ・イデ・イアデ・イ1世」 (~1394年)

1393年-01:00|ドイツ| |||<即位>メレンブルク=シュタルク公「ヨハン2世」ヨハン1世の息子 (~1416年); メレンブルク=シュタルク公「ノイ・ランテンブルク公「ウルリヒ1世」ヨハン1世の息子 (~14170408死去); メレンブルク=シュタルク公「アルブレヒト1世」ヨハン1世の息子、共同統治者 (~1397年死去)

1393年 00:00|モロッコ| |||<即位>マリーン朝スルターン「アブドゥル・アジズ2世」 (~1398年)

1393年2月12日-09:00|日本| ||明德4年|<交替>薩摩国守護「島津伊久」=>従弟の「島津元久」 (~応永18年8月6日 (14110825) 死去)

1393年2月12日-09:00|日本| ||明德4年|<交替>備中国守護「渋川満頼」罷免=>「細川満之」 (~応永12 (1405) 年12月15日死去)

1393年2月12日-09:00|日本| ||明德4年|<交替>尾張国守護「畠山深秋」=>「今川仲秋」 (~応永5 (1398) 年)

1393年2月12日-09:00|日本|静岡県浜松市浜北区|明德4年|洞巖玄鑑、太白山龍泉寺 (根堅) を開山

1393年2月15日-09:00|日本| ||明德4年1月4日|<任命>伯耆国守護「山名氏之」 (~応永31 (1424) 年10月23日以降死去)

1393年2月19日-09:00|日本|三重県|明德4年1月8日|伊勢国司北畠顯泰、世保康政と鈴鹿郡に交戦して勝つ

1393年2月21日-09:00|日本|京都府京都市|明德4年1月10日|幕府が洛中土倉・酒屋への寺社扶持を否定し課役を定める

1393年3月7日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ポ・ンメルン=グ・オルカ・スト公「ボギスラフ6世」

1393年3月7日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ポ・ンメルン=グ・オルカ・スト公「バルニム6世」 (~14050922死去)、'グ・アルティスラフ8世」 (~14150820死去)

1393年3月17日-09:00|日本|島根県雲南市|明德4年2月5日|山名満幸・塩冶遠江入道、出雲国三刀屋代に押寄せ合戦/城主須和部菊松丸、満幸等を追い払う

1393年3月27日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・洪武25年2月15日|李成桂新王朝が明皇帝の裁可で新国号を朝鮮とする

1393年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「コ・ツツィオ・デ・イ・ムツォリーノ」(「アントニオ・テ・ニャ」)

1393年4月12日-09:00|日本/中国|沖縄県|明德4年3月|汪英紫、山南王の船を借りて、山南王叔として明に進貢

1393年4月23日 00:00|チャン礼諸島/イギリス| |||<死去>イギリス王領ジャージ-島守護者「Hugh Calvilegh卿」

1393年4月23日 00:00|チャン礼諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージ-島守護者「Jean de Golafre卿」 (~13961130死去)

1393年6月6日-09:00|日本| ||明德4年4月26日|<死去>北朝5代「後円融天皇」/36歳(誕生:正平13;延文3 (1358) 1212)

1393年7月10日-01:00|スイス| |||ゼンハ協定が成立

1393年7月10日-09:00|日本| ||明德4年6月|<交替>安芸国守護「細川頼元」隠居=>「渋川満頼」 (~応永10 (1403) 年4月)

1393年7月14日-09:00|日本| ||明德4年6月5日|<辞任>室町幕府管領「細川頼元」

1393年7月14日-09:00|日本| ||明德4年6月5日|<任命>室町幕府管領「斯波義将」 (~応永5 (1398) 年閏4月23日)

1393年7月15日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ド・ジェ「ピエトロ・フレゴッソ」 (~同日) => 「クレメンテ・フ・ロメントリ」 (~7. 16)

1410迄 (1306件)

1393年7月16日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「フランチェスコ・ギスティニアノ・ディ・ガリバルド」(~8.30)
1393年7月17日-02:00|ブルガリア/トルコ| |||オスマン帝国がタルナヴナートを占領
1393年7月30日-01:00|イタリア| |||<死去>フェラーラ・モテナレッシェ侯「アルベルト」
1393年7月30日-01:00|イタリア| |||<就任>フェラーラ・モテナ侯「ニコロ3世」(⇒1405年フェラーラ・モテナレッシェ侯~14411206死去)
1393年8月-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||ティムールの対イラン第3次遠征、バクタードへ侵入しムザッファル朝滅ぶ
1393年8月15日-09:00|日本|京都府京都市上京区|明徳4年7月8日|京都妙顕寺を妙本寺と改称
1393年8月17日-09:00|日本| ||明徳4年7月10日|<交替>加賀国守護「斯波義重」⇒「斯波義種」再任(~応永15年2月2日(14080308)死去)
1393年8月28日-03:00|イラク| |||バグダッドはタメルランによって略奪された(~12.20)
1393年8月30日-01:00|イタリア| |||<再任>ジェノヴァ共和国ドージェ「アントニオ・モンタルド」(2期目~13940524)
1393年9月28日-09:00|日本|京都府京都市左京区|明徳4年8月22日|南禅寺炎上、同寺開山普門無関の塔院天授庵も類焼
1393年10月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「フェレンツ・セーチェニ」(~1395年9月)
1393年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトリノ・ディ・アントニオ」「ニコロ・ディ・キオヴ」
1393年10月6日-09:00|日本|沖縄県|明徳4年9月|山南王(承察度)、死す/若按司が跡を継いで山南王となる
1393年11月29日-02:00|トルコ| |||<即位>キキア・アルメニア王国国王「シヤック1世」エルサレム王・キプロス王(~13980909死去)
1393年11月29日-01:00|フランス/トルコ| |||<死去>キキア・アルメニア王「レウオン6世」パリで
1393年12月-02:00|ギリシャ| |||<廃位>テッサリア副帝「マヌエル・アンゲロス・フィラントロノス」オスマン朝によるテッサリア併合
1393年12月-02:00|ギリシャ/トルコ| |||オスマン朝によりテッサリア併合
1393年12月4日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||<死去>下バイエルンランツフート公「フリートリヒ」
1393年12月4日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||<即位>下バイエルンランツフート公「ハインリヒ16世」フリートリヒの息子(⇒1447年兼上バイエルンインコルシュタット公~14500730死去)
1393年12月5日-01:00|ポーランド| |||<死去>グウォグフ公「ハンリ6世the Older」
1393年12月13日-01:00|ドイツ/オランダ| |||<死去>ユリヒ公「グィヘルム2世」
1393年12月13日-01:00|ドイツ/オランダ| |||<即位>ユリヒ公「グィヘルム3世」(~14020216死去)
1393年12月23日-09:00|日本|京都府|明徳4年11月20日|幕府、洛中洛外の土倉・酒屋役の制を定める
1394年-08:00|モンゴル| |||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「エンケ」
1394年-08:00|モンゴル| |||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「エルベク・ニグレスチ・ハーン」(~1399年没)
1394年-07:00|カンボジア| |||<即位>クメール王朝国王「イン・レアキア」(~1421年)
1394年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「ラダトウ2世」(~1395年)
1394年-05:30|インド| |||<即位>ジャウンプル・スルターン朝「ホージャ・ジャハーン」ジャウンプル地方総督のサルワルが独立(~1399年)
1394年-04:00|ロシア| |||<復位>プスコフ公「アントリウス・アルギルタイス」(~1399年)
1394年-03:30|イラン| |||<即位>パダスハニド朝君主「Eskandar3世」(~未詳)
1394年-03:00|サウジアラビア| |||<即位>メッカ・アミール「Al-Hassan2世」(~1425年)
1394年-03:00|ベラルーシ| |||<廃止>グィテフスキ公国
1394年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ノヴゴロド・セウエルスキ公「テオドラス・リュバルタイス」(~1405年)
1394年-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||モルタビアはハンガリーの家臣(~1402年)
1394年-01:00|チュニジア/アルジェリア| |||<死去>ハフス朝アミール「アブールアッハースアフマド2世」
1394年-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ホーメルン＝グォルガスト＝シュトルプ公「グァルティスラフ7世」
1394年-01:00|フランス| |||<就任>オーベルニュ伯「Joan2世」(~1422年),「John」ベリー公、Joan2世の最初の夫(~1416年)
1394年-01:00|クロアチア/ハンガリー| |||<就任>クロアチアとダルマチア・ハン「フトコ・クヤコヴィッチ」(~同年)
1394年-01:00|クロアチア| |||<就任>スラヴォニア全土のハン「テトリク・フベック」(2度目~1397年)
1394年-01:00|フランス| |||<就任>ダマルタン伯「Blanche de Trie」(~不詳)
1394年-01:00|ドイツ| |||<就任>ツヴァイブリュッケン公「ルプヒヒ1世」プファルツ選帝侯家(本流)(~13980106死去)
1394年-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ホーメルン＝グォルガスト＝シュトルプ公「ホギスラフ8世偉大公」(~14180211死去),「ハルニム5世」(~1402年死去)
1394年-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ伯「Guglielmo Raimondo de Moncada」(2期目~1397年)
1394年-01:00|ドイツ| |||<就任>リュッケン公「グァルティスラフ8世」(~1415年)
1394年-01:00|アルジェリア| |||<即位>ザイーン朝スルターン「アブー・ザイーン2世」(~1399年)
1394年-01:00|チュニジア/アルジェリア| |||<即位>ハフス朝アミール「アブー・ファリス」(~1434年死去)
1394年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「グラスゴー助祭ダンカン・フチ」
1394年 00:00|マリ/ニジェール| |||<即位>ソンガイ王国国王「マル・キライ」(~1402年)
1394年1月3日-09:00|日本|東京都港区|明徳4年12月|浄土宗第八祖聖聡上人によって増上寺創建<浄土宗鎮西派大本山>
1394年1月20日-05:30|インド| |||<死去>トウグル朝スルターン「ナシルッティーン・ムハンマド・シャー」
1394年1月22日-05:30|インド| |||<即位>トウグル朝スルターン「アラー・ウッティーン・シカンダル・シャー」(~3.8死去)
1394年2月1日-09:00|日本| ||明徳5・応永元年|<交替>山城国守護「畠山基国」⇒「結城満藤」(~応永6(1399)年)
1394年2月1日-09:00|日本|静岡県浜松市東区|明徳5・応永元年|時宗の長福寺(恒武町)創建
1394年2月1日-09:00|日本|静岡県浜松市南区|明徳5・応永元年|臨済宗方広寺派の光勝院(新橋町)創建
1394年2月1日-09:00|日本|千葉県野田市|明徳5・応永元年|足利氏満下総国円福寺を再建
1394年2月1日-09:00|日本|奈良県|明徳5・応永元年|明兆、大道和尚像を描く
1394年2月19日-09:00|日本|宮崎県都城市|明徳5年1月19日|相良前頼、薩摩・大隅・日向の乱により、一揆を援け日

1410迄 (1306件)

向に赴き都城を守る/都城にて相良前頼・弟丸目頼書・丸野頼成・青井前成討死
1394年3月3日-01:00|ポーランド| |||<死去>レグニツァ公「ホレスワフ4世」
1394年3月8日-05:30|インド| |||<死去>トゥグルク朝スルタン「アラー・ウッディーン・シカンダル・シャー」
1394年3月8日-05:30|インド| |||<即位>トゥグルク朝スルタン「ナシルッディーン・マフムド・シャー」(~1413. 2死去)、「ナシルッディーン・スラト・シャー」(~1398年死去)
1394年3月17日-02:00|ギリシャ| |||<死去>アテネ公「ルイ・ダンギャン」
1394年3月19日-09:00|日本|宮崎県北諸県郡三股町|明德5年2月17日|<梶山合戦>蒲原播磨守直忠、日向・大隅・薩摩3州一揆助け、日向梶山城高木久家(梶山城援軍に、高城城和田土佐守入道正覚・都城北郷誼久の子藤次郎久秀、次郎忠通・島津元久)攻落/北郷次郎忠通・北郷藤次郎久秀・伊地知又七郎討死
1394年3月31日-09:00|日本|愛知県岡崎市|明德5年2月29日|源武尚、三河国舘播宮の社壇を造立
1394年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ルナルディ・ノ・デ・イ・ベ・ルナルド」 「マルチノ・デ・イ・ゲ・ロ・デ・ピストルツ」
1394年4月7日-09:00|日本|宮崎県北諸県郡三股町|明德5年3月7日|今川貞兼、日向三侯院梶山城高木氏を攻める/島津元久・都城北郷誼久・北郷久秀・北郷忠通これを援ける/北郷久秀・忠通敗死し梶山城陥る
1394年4月10日-09:00|日本|神奈川県南足柄市|明德5年3月10日|了庵慧明禅師により大雄山最乗寺(道了尊)創建
1394年5月18日-09:00|日本|静岡県富士宮市|明德5年4月18日|<死去>富士山本門寺の開山・日代上人/101歳
1394年5月24日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ニコロ・ゾアグーリ」(~8. 17)
1394年5月30日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・洪武26年5月|鄭道伝が「朝鮮経国典」を編纂
1394年5月30日-09:00|日本|沖縄県|明德5年5月|<即位>琉球南山国王「汪英紫」(~1402年死去)/島尻大里がスを攻め取り、島添大里がスにはワスが入り、島添大里按司になる
1394年6月12日-01:00|チェコ| |||<就任>ホーヘミヤ摂政「ヨシュ・マルクハベ・モウ・スキー」(~8. 1)
1394年6月13日-01:00|ポーランド/トイツ| |||<死去>ポズナニ公「ヴァルティスラフ6世隻眼公」
1394年7月9日-09:00|日本|京都府京都市右京区|明德5年6月11日|天竜寺総門焼失
1394年7月11日-09:00|日本| ||明德5年6月13日|<死去>甲斐国守護「武田信成」子の信春が継ぐ(~応永20年10月23日(14131116)死去)
1394年7月24日 00:00|イギリス| |||<就任>バカン伯「ロバート・ステュアート」(⇒13980428兼オールバニ公~14060920息子に伯爵領を与えた)
1394年8月2日-09:00|日本| ||応永1年7月5日|「応永」に改元
1394年8月10日-09:00|日本/韓国| ||応永1年7月13日|今川了俊、659人の朝鮮人送還
1394年8月17日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「アントニオ・ガロ」(~9. 3)
1394年8月27日-09:00|日本| ||応永元年8月|<交替>伊予国守護「河野通義」隠居⇒弟の「河野通之」(~応永16(1409)年隠居)
1394年8月27日-09:00|日本| ||応永元年8月|<任命>尾張国海東郡守護「一色詮範」(~不詳)
1394年8月27日-09:00|日本| ||応永1年8月1日|<死去>98代長慶天皇/52歳(誕生:興国4; 康永2(1343))
1394年9月3日-01:00|イタリア| |||<再任>ジェノヴァ共和国ドージェ「アントニオ1世アドルノ」(4期目~13961127)
1394年9月7日-01:00|トイツ/オランダ| |||<死去>クレフェ=マルク伯「アドルフ3世」
1394年9月7日-01:00|トイツ/オランダ| |||<就任>クレフェ=マルク伯「アドルフ2世」(⇒1417年クレフェ公・マルク伯~14480923死去)
1394年9月7日-01:00|トイツ| |||<就任>マルク伯「デ・イートリ」(~1398年死去)
1394年9月11日-09:00|日本| ||応永1年8月16日|<交替>薩摩国守護「島津伊久」解任⇒「今川貞世」復職(~応永2(1395)年間7月解任)
1394年9月16日-01:00|フランス/バチカン| |||<死去>アヴェニオン対立教皇「クレメン7世(ロベルト・デ・ジエノヴァ)」[1342年生~]
1394年9月17日-02:00|ギリシャ| |||<死去>アテネ公「ネオ1世」
1394年9月17日-02:00|ギリシャ| |||<即位>アテネ公「アントニオ1世」(~1395年)
1394年10月-02:00|ルーマニア/トルコ| ||ワラキアはオスマン帝国の家臣(~14030923)
1394年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ウーリーノ・デ・イ・ジ・ヨヴァンニ」 「チェッコ・デ・イ・アレックスントロ」
1394年10月10日-01:00|北マケドニア/トルコ| ||マケドニアはオスマン帝国の一部(1844年までルミアのアイヤレット)
1394年10月11日-01:00|フランス/バチカン| |||<就任>対立ローマ教皇(アヴェニオン教皇)「ベネディクトゥス13世(ペドロ・デルナ)」(~14230523)
1394年10月19日-09:00|日本|京都府京都市上京区|応永1年9月24日|相国寺炎上
1394年10月25日-09:00|日本/中国|沖縄県|応永1年10月|汪英紫、山南王叔として明に進貢
1394年11月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「ウラド1世強奪者」(~1397年1月)
1394年11月4日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||応永1年10月11日|李成桂、工曹典書崔龍蘇を遣わし、朝鮮人の送還を謝し、倭寇の取り締まりを求める
1394年11月17日-09:00|日本| ||応永1年10月24日|<死去>武蔵国守護・上野国守護・伊豆国守護「上杉憲方」
1394年11月17日-09:00|日本| ||応永1年10月24日|<任命>上野・伊豆国守護「上杉憲定」(~応永19年12月18日(14130120)死去)
1394年11月21日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・洪武26年10月28日|朝鮮、漢陽(漢城、今のソウル)に遷都
1394年11月26日-09:00|日本| ||応永1年11月3日|<死去>関東管領「上杉憲孝(宅間)」
1394年11月29日-09:00|日本|京都府京都市|応永1年11月6日|<就任>関白「一条経嗣」(~応永5年3月9日)
1394年12月-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア総督「ローマ1世ムサット」
1394年12月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ステイブ・ン1世」(~13991128死去)
1394年12月13日-01:00|トイツ| |||<死去>ブラウンシュヴァイク=グッティンゲン侯「オットー1世」
1394年12月13日-01:00|トイツ| |||<就任>ブラウンシュヴァイク=グッティンゲン侯「オットー2世」オットー1世の息子(~14630206死去)

1410迄 (1306件)

1395年-07:00|タイ| |||<死去>アユタヤ王朝第5代国王「ラーメスワン」
 1395年-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第6代国王「ラーマラーチャーティラート(ラーマラーチャー)」(~1409年)
 1395年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラン国王「シタビ」2世」(~1397年) 僭主
 1395年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ国王「Jayakiti Malla」(~1403年)、「Jayadharma Malla」(~1408年)、「Jayajyoti Malla」(~1428年)
 1395年-04:00|ロシア| |||<即位>スモレンスク公「ロマン・ミハイロヴィチ」(~1401年)
 1395年-03:00|イエメン| |||<即位>カシーリー国サリフ「Badr as-Sahab ibn al-Habrali Bu Tuwairik」(~1430年)
 1395年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>スルツク公「ウラディミラス・アルギルダイトス」(~1398年)
 1395年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティリア公「トナート・モロ」(2度目~1397年)
 1395年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<占領>アテネ公国がヴェネツィア共和国領となる(~1402年)
 1395年-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「スキルグイラ」(~1397年)
 1395年-02:00|トルコ| |||オスマン朝軍がコンスタンティノープルを包囲
 1395年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデュラツォ執達吏・長官「フランチェスコ・ダントーロ」(~1397年)
 1395年-01:00|クロアチア/ハンガリー| |||<就任>クロアチアとダルマチア・パン「ニコラ2世ガラ」(~1397年)
 1395年-01:00|ドイツ| |||<就任>メクレンブルク公「アルブレヒト3世」アルブレヒト2世の息子(~1412年)、「エーリヒ1世」アルブレヒト3世の息子(~1397年) 共同統治
 1395年-01:00|ドイツ| |||<就任>ラーフェンスベルク伯「アドルフ」(~1403年 讓位)
 1395年-01:00|ドイツ| |||<讓位>ラーフェンスベルク伯「ヴィルヘルム7世」
 1395年-01:00|コンゴ共和国/コンゴ民主共和国| |||中部アフリカにコンゴ王国成立(~1914年)
 1395年1月-01:00|モザンビーク| |||<即位>モザンビーク領主「ルイ」(~13951219)、「ジャン1世」(~13951219) 共治
 1395年1月8日-09:00|日本| ||応永1年12月17日<辞任>室町幕府征夷大將軍「足利義満」
 1395年1月8日-09:00|日本| ||応永1年12月17日<任命>室町幕府第4代征夷大將軍「足利義持」(~応永30(1423)年3月18日)
 1395年1月22日-09:00|日本| ||応永2年<交替>美濃国守護「土岐頼忠」隠居⇒子の「土岐頼益」(~応永21年4月4日(14140423)死去)
 1395年1月22日-09:00|日本| ||応永2年<任命>佐渡国守護「上野氏」(~不詳)
 1395年1月22日-09:00|日本| 沖縄県| 明・洪武28年<死去>琉球北山国王「怕尼芝」
 1395年1月22日-09:00|日本| 沖縄県| 明・洪武28年<即位>琉球北山国王「珉」(~1400年死去)
 1395年1月22日-09:00|日本| 静岡県榛原郡吉田町| 応永2年| 曹洞宗静富山則心寺(焼津市下小杉)開山の華溪祖菊大和尚、初倉庄君島村に長源寺建立
 1395年1月22日-09:00|日本| 静岡県浜松市中区| 応永2年| 的伝一着、臨済宗方広寺派の大通山瑞雲寺を開創
 1395年1月22日-09:00|日本| 東京都江東区| 応永2年| 良博大和尚が柳島辻堂の下に眠る観世音をまつり龍眼寺創建
 1395年1月22日-09:00|日本| 宮崎県えびの市| 応永2年| 相良祐頼、北原範兼と徳満城で酒宴中に争いとなつての末斬り合いとなり、両者死亡/相良氏と北原氏の交流断絶
 1395年3月30日-09:00|日本| ||応永2年3月9日<任命>関東管領「上杉朝宗(犬懸)」(~応永12(1405)年9月12日死去)
 1395年3月30日-09:00|日本| ||応永2年3月9日<任命>武蔵国守護「上杉朝宗」(~応永16年7月22日(14090901)隠居)
 1395年3月31日-09:00|日本| 京都府京都市下京区| 応永2年3月10日| 侍所別当京極高詮、山名満幸を五条坊門高倉の宿で殺害
 1395年4月-04:00|ロシア/ウズベキスタン| |||ティムール軍がキプチャク・ハン国を攻撃し、テルク河へ遠征
 1395年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ウイター・ディ・コルベロ」「ジョヴァンニ・ディ・アントレ」
 1395年4月6日 00:00|イギリス| |||<死去>スタッフォート伯「William Stafford」
 1395年4月6日 00:00|イギリス| |||<就任>スタッフォート伯「Edmund Stafford」(~14030722死去)
 1395年4月8日-02:00|ラトヴィア/エストニア| |||<就任>リガ大司教・ラヴァント公「ヨハネス5世フォン・ヴァレンローテ」(~14180530)
 1395年4月10日-09:00|日本| ||応永2年3月20日<任命>出雲・隠岐国守護「京極高詮」(~応永8年9月7日(14011014)死去)
 1395年4月20日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・洪武27年4月| 李氏朝鮮で田制改革
 1395年5月15日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王「マーチ・アルスター伯ロジャー・モーター」(1回目~13970123)
 1395年5月17日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<死去>ハンガリー国王・クロアチア王「マリア」
 1395年5月18日-02:00|キプロス| |||<就任>聖ヨハネ騎士団対立マスター「バルトロメオ・カラファ・デ・ウラ・スピナ」(~14050425没)
 1395年5月18日-09:00|日本| 京都府京都市| 応永2年4月29日| 京都大火、下京四条-七条間焼失
 1395年6月3日-02:00|ブルガリア| |||<死去>第二次ブルガリア帝国皇帝「イワン・シシュマン」
 1395年6月18日-09:00|日本| 千葉県佐倉市| 応永2年6月| 益田銀太夫義続、梅林禅芳開山に、龍沢山長源寺(吉田町神戸)開基
 1395年6月23日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・洪武27年6月6日| 朝鮮、漢陽を漢城と改称
 1395年7月11日-09:00|日本| ||応永2年6月24日| 前將軍「足利義満」出家(道有)
 1395年7月27日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||応永2年7月10日| 今川了俊、崔龍蘇の帰国に際し、僧宗俱を随伴させ570人の朝鮮人送還し、書を送る
 1395年8月10日-09:00|日本| ||応永2年7月24日<任命>上野国守護「上杉憲定」
 1395年8月11日-09:00|日本| 長野県北佐久郡御代田町| 応永2年7月25日| 北佐久郡小沼村真楽寺の金剛力士像、成

1410迄 (1306件)

る

1395年8月29日-01:00|オーストリア/スロベニア/イタリア| |||<死去>オーストリア公・ケルテン公「アルブ・レヒト3世」兼チロル伯「アルブ・レヒト4世」
1395年8月29日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア・シュタイアーマルク公摂政「ウー・イルヘルム友好公」(~13951122)
1395年8月29日-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア公「アルブ・レヒト4世」(~14040914死去26歳)
1395年9月5日-01:00|イタリア| |||<即位>ミラノ・シニョーレ「ジャン・ガレアツォ・ウー・イスコンティ」⇒ミラノ公(~14020903死去)
1395年9月7日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ| |||<死去>ボスニア王「ステパン・ダビシャ」
1395年9月7日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ| |||<即位>ボスニア女王「エレナ」(~1398年5月)
1395年9月9日-09:00|日本| ||応永2年間7月25日|<解任>九州探題・筑後国守護・肥前国守護・肥後国守護・壱岐国守護「今川貞世(了俊)」大内義弘の讒により
1395年9月9日-09:00|日本| ||応永2年間7月25日|<任命>薩摩国守護「島津伊久」復職(~応永14(1407)年5月4日死去)
1395年9月9日-09:00|日本| ||応永2年間7月25日|<任命>筑後国守護「大友親世」(~応永8(1401)年、甥の親著に譲る)
1395年9月25日-02:00|ブルガリア/トルコ| |||全ブルガリアがオスマン帝国バヤズィット1世に併合されて、第2次ブルガリア帝国は滅亡
1395年9月28日-09:00|日本|静岡県浜松市西区|応永2年8月15日|春日神社(馬郡町)開山
1395年9月30日-09:00|日本|奈良県奈良市|応永2年8月17日|唐招提寺の成慶大悲菩薩像を造る
1395年10月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ステイホーリ・ステイホーリ」(1回目~1401年4月)
1395年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シモーネ・ディ・ベッルツォ」(リコ・ネ・ディ・ジョヴァンニ)
1395年10月11日-09:00|日本|愛知県豊橋市|応永2年8月28日|<死去>三河国悟真寺開山善忠
1395年11月17日-09:00|日本|沖縄県|明・洪武28年10月5日|<死去>琉球中山国王「察度」
1395年11月17日-09:00|日本|沖縄県|明・洪武28年10月5日|<即位>琉球中山国王「武寧」(~1405年失国)
1395年11月22日-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア・シュタイアーマルク公「ウー・イルヘルム友好公」共同統治者(~14040914)
1395年12月19日-01:00|モナコ/イタリア| |||モナコをジェノヴァが支配(~13970511)
1395年12月24日-01:00|ポーランド| |||<死去>グウォグフ公「ヘンリ7世Rumpold」
1395年12月24日-01:00|ポーランド| |||<就任>グウォグフ公「ヘンリ8世the Sparrow」(~13970314死去)
1395年12月26日-09:00|日本| ||応永2年11月14日|<変更>駿河守護「今川泰範」半国没収⇒駿河西半国守護(⇒応永7(1400)年1月11日駿河国守護);<任命>駿河・遠江東半国守護「今川貞世(了俊)」(~応永7(1400)年1月11日解任);<任命>遠江西半国守護「今川仲秋」(~応永7(1400)年1月11日解任)
1395年12月30日-01:00|イタリア| |||ベネチア、スクアリの占領
1396年-07:00|タイ| |||<即位>カオ王国国王「シーチャント」(~1397年)
1396年-04:00|ロシア| |||<即位>金帳ハン国ハン「テムル・クトルク・テムル・ベクの子、白帳ハン」(~1401年)
1396年-04:00|ジョージア| |||<即位>イメリ王「コンスタンティヌス2世」(~1401年死去、グルジア王国に併合)
1396年-04:00|ロシア| |||<即位>シベリヤハン国ハン「トクタシユ」(~1406年)
1396年-02:00|ブルガリア| |||<即位>第二次ブルガリア帝国皇帝「コンスタンティン(2世)・アセン・シシュマン・スラヴィミル」(~14220917死去)
1396年-02:00|ブルガリア/ハンガリー| |||ハンガリアがウー・ディーンを占領(~1397年)
1396年-01:00|フランス/イタリア| |||<死去>サルツォ侯「フェデリコ2世」
1396年-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・ケーテン侯「Albert4世」(~14231124死去)
1396年-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・デッサウ侯「Sigismund1世」(~14050119死去)
1396年-01:00|イタリア/フランス| |||<即位>サルツォ侯「トマーゾ3世」(~1416年死去)
1396年-01:00|オランダ/ベルギー| |||<即位>リッパルフ公「フィリップ2世豪胆公」ブルゴニ公(~14040427)
1396年-01:00|ドイツ| |||<分割>アンハルト・ツェルプスト侯国⇒アンハルト・デッサウ侯国、アンハルト・ケーテン侯国
1396年-01:00|ドイツ| |||この年、ケルンでガッフェル(ツフ)体制
1396年-01:00|アンドラ/スペイン| |||アンドラはアラゴンに占領される(~同年)
1396年-01:00|ハンガリー/トルコ| |||オスマン帝国とのニコポリスの戦い。ジギスムント敗走
1396年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「バディーン司教ギルバート・デ・グリーンロー」(~1421年)
1396年 07:00|メキシコ| |||<即位>アステカ第2代国王「ウイツリウイトル」アカマヒチリの息子(~1417年)
1396年1月17日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・洪武27年12月7日|李氏朝鮮が科挙試験法を制定
1396年1月23日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク摂政「マルグレート・ヴァルデマルスタター」(2回目~14121028)
1396年1月23日-01:00|デンマーク| |||即位>デンマーク王「エリック7世」(ノルウェー王「エリック3世」⇒13960723、兼スウェーデン王「エリック13世」)
1396年2月4日-03:00|サウジアラビア| |||<即位>メッカ・シャリフ「ハサン・ブン・アジユン」(~1416年2月)
1396年2月10日-09:00|日本| ||応永3年|<任命>安房国守護「木戸満範」(~応永23(1416)年死去)
1396年2月10日-09:00|日本| ||応永3年|<任命>奥州管領「宇都宮氏広」(~応永7(1400)年8月戦死)
1396年2月10日-09:00|日本| ||応永3年|<任命>肥後国守護「洪川満頼」(~応永11(1404)年)
1396年2月10日-09:00|日本|静岡県浜松市南区|応永3年|臨濟宗方広寺派の蔵興寺(浜松市新橋町)創建
1396年3月10日-09:00|日本/中国|沖縄県|応永3年2月|汪英紫、山南王叔として明に進貢
1396年3月12日-01:00|フランス/イギリス| |||イングランドとフランスの間に28年間の休戦協定が成立
1396年3月12日-09:00|日本|愛知県北設楽郡東栄町|応永3年2月3日|三河国八王社の社殿建立
1396年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「サンペリーノ・ディ・ジョヴァンニ」(「ジョヴァンニ・ディ・フランスコ」)
1396年4月6日-09:00|日本|鹿児島県|応永3年2月28日|(20日~)(入来院)樋脇、前田、市比野の諸城が、島津久哲勢

1410迄 (1306件)

に攻められ陥落

1396年4月6日-09:00|日本|栃木県小山市|応永3年2月28日|小山義政の遺児・若犬丸が奥州の田村清包の支援で挙兵/小山城に入る/足利氏満古河城に出陣、若犬丸奥州へ退散
1396年4月9日-09:00|日本/韓国/朝鮮| || 応永3年3月|大内義弘、朝鮮に捕虜を送還
1396年4月14日-01:00|モンテネグロ| || スカダルはヴェネツィアに譲った
1396年4月14日-01:00|アルバニア/イタリア| || スカラがヴェネツィアに割譲 (~14790126)
1396年4月16日-09:00|日本|静岡県浜松市中区| 応永3年3月8日|井伊匠作直秀、満福寺造立/住持大雲智範/作事奉行大代九郎藤原宗清
1396年4月24日-09:00|日本| || 応永3年3月16日|<任命>九州探題「洪川満頼」(~ 応永26(1419) 年辞任)
1396年5月6日-02:00|キプロス| || <就任>聖ヨハネ騎士団マスター「フィリベール・ド・ナヤック」(~1421年6月没)
1396年5月9日-09:00|日本| || 応永3年4月2日|<死去>明承法親王(30歳)後光厳天皇の皇子、第143世天台座主
1396年5月15日 00:00|アイルランド/イギリス| || <就任>アイルランド 副王代行「マン卿ウィリアム・ル・スコープ」(~1397年8月)
1396年5月19日-01:00|スペイン/イタリア| || <死去>アラゴン王兼サルデーニャ国王「フアン1世」兼バルセロナ伯「ジュアン1世狩猟王・不注意王・優雅者の愛好者」46歳
1396年5月19日-01:00|スペイン| || <就任>バルセロナ伯「マルティン1世(人文王、聖職者王)」(~14100531死去)
1396年5月19日-01:00|スペイン/イタリア| || <即位>アラゴン王兼サルデーニャ国王「マルティン1世」兼バルセロナ伯「マルティン1世人文王・聖職者王」ペドロ4世とレオノール・デ・シリアの息子(~14100531死去54歳)
1396年7月19日-09:00|日本|長野県大町市| 応永3年6月14日|仁科盛房、安曇郡仁科神明の式年造営を行ひ、是日、遷宮を行ふ
1396年7月23日-01:00|スウェーデン| || <即位>スウェーデン王「エリク13世」(ノルウェー王「エリク3世」兼デンマーク王「エリク7世」/1回目 ~14340823)
1396年8月4日-09:00|日本| || 応永3年7月|<交替>伊勢・志摩国守護「仁木満長」更迭⇒「仁木義員」(⇒ 応永5(1398) 年伊勢南半国没収 ~ 応永7(1400) 年3月)
1396年8月6日-01:00|ポーランド| || <就任>ボヘミア公「ボルク4世」(~14370506死去)、「ヘルタルト」(~1400年)、「ヤン・クヒンドロ」(~1421年)
1396年9月15日-09:00|日本|愛知県新城市| 応永4年|了意、三河国の某寺に薬師如来坐像を造立
1396年9月25日-02:00|ブルガリア/ハンガリー/トルコ| || ニコポリスの戦いで、バヤズィット1世のオスマン軍が、ハンガリー王ジギスムントの十字軍を破る
1396年9月28日-01:00|ハンガリー| || <就任>ハンガリー王国パラチン代行「ヤーシュ・パシュトイ」(~1397年6月)
1396年9月28日-01:00|フランス/イタリア| || フィレンツェが、ミラノ公国に対抗してフランスと同盟を結ぶ
1396年10月1日-01:00|サマリノ| || <就任>サマリノ共和国執政「パオリノ・デ・イジョヴァンニ・デ・イ・ピアンコ」「ジヨバンニ・デ・イ・パシノ」
1396年10月5日-01:00|スペイン| || <死去>初代ニブラ伯「Juan Alonso de Guzman」
1396年10月5日-01:00|スペイン| || <就任>2代ニブラ伯「Enrique Perez de Guzman」(~14361031死去)
1396年10月11日-01:00|イタリア| || ベネツィア、オーストリア王ヨハネスとの条約
1396年10月22日-09:00|日本|滋賀県大津市| 応永3年9月20日|延暦寺の大講堂供養が行われる
1396年11月-01:00|リトアニア| || <就任>グェルテンベルク伯・ファトゥツ卿代行「ヴォルフガルト・フォン・ブランデイス」(~14160906)、
「ウルリヒ・テュリング・フォン・ブランデイス」(~1408年没)
1396年11月4日-01:00|フランス/イギリス| || イングランド王リチャード2世と、フランス王女イザベルが結婚
1396年11月27日-01:00|フランス/イタリア| || ジェノヴァが、フランス軍に占領される
1396年11月30日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| || <死去>イギリス王領ジャージー島守護者「Jean de Golafre卿」
1396年11月30日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| || <就任>イギリス王領ジャージー島・ガーンジー島主「Edward」(~14151025死去)
1396年12月1日-09:00|日本/中国|沖縄県| 応永4年|汪英紫、山南王叔として明に進貢
1396年12月19日-09:00|日本|広島県竹原市| 応永3年11月19日|竹原光海神社に摂社厳島社々殿を造立
1396年12月31日-09:00|朝鮮/日本/韓国| || 朝鮮・洪武28年12月|倭寇数百人が朝鮮に降伏し、土地と食糧を求め
る/朝鮮、その首領疾六らに官職授与
1397年-07:00|タイ| || <即位>カオ王国国王「テラ」(~同年)→「オンモン(ウムアン)」(~1398年)
1397年-06:30|ミャンマー| || <即位>アラカン国王「ミンセイン」僭主⇒「ラサト2世」(~1401年)復元
1397年-05:30|スリランカ| || <即位>ガンボラ王国国王「Vira Alakesvara」(~1409年)
1397年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| || <即位>ジョチ・ウルス・ハン「Temur Qutlugh」(~1399年死去)
1397年-04:00|ロシア| || ヴォロガタがヴェリキー・ノヴォロドクからモスクワに併合される
1397年-02:00|ギリシャ/イタリア| || <就任>ヴェネツィアのカンデリア公「グリエルモ・キリーニ」(~1399年)
1397年-02:00|ギリシャ| || <就任>ナクソス公「ジヤコメ1世」(~1418年没)
1397年-02:00|エストニア/ドイツ| || <就任>リヴォニアのレヴァル司令官「ディートリヒ・フォン・ヴァイルブルク」(~1407年)
1397年-02:00|ウクライナ| || <即位>キエフ大公「イヴァン」(~1401年)
1397年-02:00|トルコ| || オスマン朝がガマン侯国を併合
1397年-01:00|フランス| || <再位>アキテーヌ公(ブランタニエ家)リシャール2世[イングランド王リチャード2世](~1399年)
1397年-01:00|オーストリア/ドイツ| || <死去>上バリエル=ミュンヘン公「ヨハン2世」
1397年-01:00|ドイツ| || <死去>メレンブルク=シュタルク公「アルブレヒト1世」
1397年-01:00|アルバニア/イタリア| || <就任>ヴェネツィアのデューツォ執達吏・長官「ピエトロ・ミキリ」(~1398年)

1410迄 (1306件)

1397年-01:00|カアチア| |||<就任>スラヴニア全土のパン「ニコラ2世ゴルヤンスキ」(~1401年)
1397年-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事「ミッケル・ラット・ティル・ショルド・ナイス」
1397年-01:00|ドイツ| |||<就任>ニュルンベルク城伯「ヨハン3世」(~14200611死去)、「フリードリヒ6世」(~1427年)
1397年-01:00|ドイツ| |||<就任>ホルシュタイン=ゼーゲベルク伯「アルブレヒト1世」(~14030928死去)
1397年-01:00|ドイツ| |||<即位>上バリエル=ミュンヘン公「エルンスト」ヨハン2世の長男(~14380702死去)、「ヴァイルヘルム3世」ヨハン2世の次男(~14350912死去)
1397年-01:00|フランス| |||<復位>アキテーヌ公「リチャード2世(再承)」(イングランド王リチャード2世~1399年)
1397年 00:00|イギリス| |||<就任>初代アルバーマル公「エドワード・オブ・ノリッジ」エドワード3世の孫(⇒1399年アルバーマル公剥奪)
1397年 00:00|イギリス| |||<就任>初代エクセター公「ジョン・ホランド」リチャード2世の異父兄(~1399年剥奪~14000116処刑された)
1397年 00:00|イギリス| |||<就任>ノーフォーク女公「マーガレット」(~13990324死去)、「ノーフォーク公」トマス・オブ・モウレー/ノッティンガム伯(~13990922死去)
1397年1月-02:00|ルーマニア| |||<再任>ワラキア総督・領主「ミルチャ1世老公」(~14180131死去)
1397年1月21日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||<死去>下バリエル=シュトラウベング公「アルブレヒト2世」
1397年1月26日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<死去>ヴェルデンベルク伯・ファドゥーツ卿「ハインリヒ」
1397年1月29日-08:00|中国| ||明・洪武30年|明が大明律を公布
1397年1月29日-07:00|ベトナム| ||大越・光泰10年1月|大越が清化府に国都を建設し移転
1397年1月30日-09:00|日本|鹿児島県薩摩川内市|応永4年|入来院重頼、島津元久、伊久に清色城を包囲され敗走
1397年1月30日-09:00|日本|静岡県掛川市|応永4年|雨桜神社(上垂木)が垂木村に移る
1397年2月10日 00:00|イギリス| |||<就任>サセツ伯「ジョン・ホーフォート」(~14100316死去)
1397年2月13日-09:00|日本|福島県|応永4年1月15日|小山若犬丸が足利氏満に攻められ陸奥国会津で自刃
1397年3月14日-01:00|ポーランド| |||<死去>グウォグフ公「ハリー8世the Sparrow」
1397年3月14日-01:00|ポーランド| |||<就任>グウォグフ公「ジャン1世」(~1412年)、「ハリー9世the Older」(~14671111死去)、「Wenceslaus of Krosno」(~1417年)、「ハリー10世Rumpold」(~14230118死去)
1397年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトリノ・デ・アントニオ」「ジャコミーノ・デ・イ・パオロ」
1397年4月20日-05:30|インド| |||<即位>パフマニ朝第6代スルタン「ギヤースッディーン・タフマタン・シャー」(~6. 14)
1397年4月25日 00:00|イギリス| |||<死去>第2代ケント伯「トマス・ホランド」
1397年4月25日 00:00|イギリス| |||<就任>第3代ケント伯「トマス・ホランド」(⇒9. 29兼初代サリ公~14000107死去)
1397年5月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>ホルシュタイン=レンスベルク伯「ニコラウス1世」
1397年5月11日-01:00|モロコ| |||<就任>モロコ領主「ジウ・アンニ」(~14021105)、「ルイジ」(2回目~14021105)
1397年5月13日-09:00|日本|京都府京都市北区|応永4年4月16日|足利義満が西園寺家の山荘を譲り受け北山殿建立、上棟式(→鹿苑寺/金閣寺)<臨済宗相国寺派>
1397年6月-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国バタイン「デ・テル・ベ・ベック・ヴァン」(~14020902)
1397年6月2日-09:00|日本| ||応永4年5月7日|<死去>摂津・土佐・讃岐・丹波国守護「細川頼元」55歳
1397年6月2日-09:00|日本| ||応永4年5月7日|<任命>摂津・丹波・讃岐国守護「細川満元」(~応永33年10月16日(14261115)死去)
1397年6月2日-09:00|日本| ||応永4年5月7日|<任命>土佐国守護「細川満元」(~応永7(1400)年)
1397年6月3日 00:00|イギリス| |||<死去>ソールズベリー伯「ウィリアム・モンタギュー」
1397年6月3日 00:00|マン島| |||<死去>マン王「William2世 Montague」
1397年6月3日 00:00|イギリス| |||<就任>ソールズベリー伯「ジョン・モンタギュー」(~14000107. 死去剥奪)
1397年6月3日 00:00|マン島| |||<就任>マン王「William3世 le Scrope」(~13991013死去)
1397年6月14日-05:30|インド| |||<即位>パフマニ朝第7代スルタン「シャムッディーン・ダーウード・シャー2世」(~11. 15)
1397年6月17日-01:00|デンマーク/ノルウェー/スウェーデン| |||<設立>カルマル連合:デンマーク、ノルウェー、スウェーデンの連合(~15230606)
1397年7月25日-09:00|日本| ||応永4年7月|<交替>上総国守護「上杉朝宗」⇒「上杉氏憲」(?)
1397年7月25日-09:00|日本| ||応永4年7月|<任命>武蔵国守護「上杉朝宗」(~応永16(1409)年7月)
1397年8月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副王「マーチ・アルスター伯ロジャー・モティマー」(2回目~13980720)
1397年8月23日-09:00|日本|広島県三原市|応永4年8月|小早川春平、安芸国に仏通寺を創建
1397年8月27日-09:00|日本/中国| ||応永4年8月5日|足利義満、明へ使いを送る
1397年9月 00:00|イギリス| |||リチャード2世が、反国王派のアランデル伯らを処刑
1397年9月8日 00:00|イギリス| |||<死去>オマル公・グロスター公・エセックス伯「トマス・オブ・ウッドストック」暗殺/黒幕は甥のイングランド王リチャード2世とされる
1397年9月21日 00:00|イギリス| |||<死去>アランデル伯・サリ伯「リチャード・フィッツアラン」剥奪
1397年9月29日 00:00|イギリス| |||<就任>初代サリ公「トマス・ホランド」第3代ケント伯(~14000107死去)
1397年9月29日 00:00|イギリス| |||<就任>ウェストモランド伯「ラルフ・ネイル」(~14251021死去)
1397年9月29日 00:00|イギリス| |||<就任>ドーセット侯「John Beaufort」(~14100316死去)
1397年9月29日 00:00|イギリス| |||<就任>ヘレフォード公「ハリー(ホーリングブルック)」ダービー伯(⇒13990203兼2代ランカスター公~13990929ハリー4世として即位)
1397年10月-02:00|ブルガリア| |||<即位>ブルガリア帝国皇帝「コンスタンチン・アシェン2世」(~14220917死去)
1397年10月-02:00|ブルガリア/トルコ| |||オスマン帝国がガラティンを占領
1397年10月 00:00|イギリス| |||<就任>オマル公「Edward of Norwich」ラランド伯(~14151025死去)
1397年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ニコロ・デ・イ・ギョガ」「マリノ・デ・イ・ギョ・ノ・ファブロ」
1397年10月9日-09:00|日本|静岡県三島市|応永4年9月18日|三島社(大宮町)炎上

1410迄 (1306件)

1397年11月1日-01:00|フランス| |||<死去>モンペリアル伯「エティエンヌ」
1397年11月1日-01:00|フランス| |||<就任>モンペリアル伯「アンリエット」エティエンヌの孫娘(〜14440214死去)
1397年11月24日-05:30|インド| |||<即位>パフマニー朝第8代スルタン「タージュッティーン・フィールズ・シャー/フィールズ・シャー・パフマニー」(〜14221001死去)
1397年12月4日-09:00|日本|京都府京都市上京区|応永4年11月15日|蘆山寺焼亡
1397年12月7日-09:00|日本|京都府京都市東山区|応永4年11月18日|建仁寺炎上
1397年12月22日-01:00|フランス| |||<死去>ブワロ伯「Guy2世」
1398年-07:00|タイ| |||<即位>カオ王国国王「ワン」(〜1406年)
1398年-07:00|カンボジア| |||アユタヤ朝がクメール王朝の首都を占領
1398年-05:30|インド| |||<死去>トゥグルク朝スルタン「ナシルッティーン・ヌスラト・シャー」
1398年-05:30|インド| |||<即位>サマ朝スルタン「Jam Karn」(〜同年)⇒「Jam Fath Khan」(〜1414年)
1398年-05:30|インド| |||ウイジャヤナガル王国ハリハラ2世がパフマニー領に侵攻
1398年-05:00|モルデイヴ| |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Ibrahim1世 Dhammaru Veeru」(〜同年廃位)⇒「Hussain1世 Loka Veeru」(〜1409年)
1398年-03:00|ペラルーシ| |||<即位>スルツ公「アレクサンドロス・オレカ」(〜1454年死去)
1398年-02:00|トルコ| |||<即位>カラマニ朝ベイ「Sultanzade 2世 Mehmed Bey」(〜1399年)
1398年-02:00|トルコ| |||オスマン朝がカーデー・ブルハネッティーン侯国を併合
1398年-01:00|イタリア| |||<死去>ゲラウ・イナ伯「Spinetta2世 Malaspina」
1398年-01:00|ドイツ| |||<死去>マルク伯「ディートリヒ」
1398年-01:00|スペイン| |||<就任>アンソリアス伯「John2世」(〜1401年)
1398年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデューツツォ執達吏・長官「カフリエレ・ナダル」(〜1399年)
1398年-01:00|ドイツ| |||<就任>オルデンブルク伯「クリスチャン6世」(〜1423年)
1398年-01:00|ドイツ| |||<就任>シュボンハイム=シュタルケンベルク伯「John4世」(〜14131016死去)
1398年-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランデンブルク=アンスバッハ辺境伯「フリードリヒ」(〜14400920死去)ニルンベルク城伯フリードリヒ5世の息子。父の侯領を兄のヨハン3世と分配
1398年-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランデンブルク=クルムバッハ辺境伯「ヨハン」(〜14200611死去)ニルンベルク城伯フリードリヒ5世の息子
1398年-01:00|ドイツ| |||<就任>マルク伯「アドルフ4世」クレフェ伯(1417年よりクレフェ公〜1430年)
1398年-01:00|イタリア| |||<即位>アマルフィ公「ヴェンセスラオ・サンセヴァーリノ」(〜1405年)
1398年 00:00|イギリス| |||<死去>デズモンド伯「ジェラルド・フィッツジェラルド」
1398年 00:00|アイルランド| |||<死去>トモント王(請求者)「トイルデルハ・マール・オブ・リアン」
1398年 00:00|イギリス| |||<就任>初代クロフォート伯「デヴィッド・リンジー」(〜1407年死去)
1398年 00:00|イギリス| |||<就任>デズモンド伯「ジョン・フィッツジェラルド」(〜13990304死去)
1398年 00:00|イギリス| |||<就任>ロシー公(スコットランド王位の法定推定相続人)・アソル伯「デヴィッド・シュワート」(〜14020326死去)
1398年 00:00|モロッコ| |||<即位>マリニ朝スルタン「アフドゥラフ」(〜1399年)
1398年1月 00:00|イギリス| |||<就任>サフォーク伯「マイケル・ド・ラ・ポール」(〜14150914死去)
1398年1月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>ツヴァイブリンゲン公・フアルツ選帝侯「ルプヒヒ1世」
1398年1月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>ライン宮中伯「ルプヒヒ2世」
1398年1月6日-01:00|ドイツ| |||<就任>ライン宮中伯「ルプヒヒ3世」(〜14100518)
1398年1月6日-01:00|ドイツ| |||<即位>ツヴァイブリンゲン公「ルプヒヒ2世」兼フアルツ選帝侯「ルプヒヒ3世」(〜14100518死去)
1398年1月19日-09:00|日本| |||応永5年<交替>尾張国守護「今川仲秋」⇒「蒲原(今川)直世」(〜同年死去)
1398年1月19日-09:00|日本| |||応永5年<任命>伊勢南半国守護「北畠顕泰」(〜応永9(1402)年隠居)
1398年1月19日-09:00|日本| |||応永5年<任命>淡路国守護「細川満俊」(〜不詳)
1398年1月19日-09:00|日本| |||応永5年<任命>肥前国守護「吉見詮頼」(〜不詳)
1398年1月19日-09:00|日本|群馬県沼田市|応永5年|長寿院(材木町)の十王像が造立される
1398年1月31日-09:00|日本| |||応永5年1月13日<死去>北朝3代崇光天皇/65歳(誕生:建武1(1334)0422)
1398年3月27日-09:00|日本| |||応永5年3月9日<就任>関白「二条師嗣」(〜応永6(1399)年4月17日)
1398年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・ディ・フォスコ」/「ジョヴァンニ・ディ・アントレア」
1398年4月2日-07:00|ベトナム| |||大越・建新1年3月15日<即位>陳朝(大越)皇帝「少帝」(〜14000323(建新3年2月28日)譲位。陳朝は滅び、胡朝が成立)建新と改元(〜1400年)
1398年4月5日-01:00|ドイツ| |||ドイツ騎士団が、ウイスを占領してバルト海の商業権を掌握
1398年4月17日-09:00|日本| |||応永5年4月(〜12月)<交替>対馬国守護「宗頼茂」⇒「宗貞茂」(〜応永21(1414)年)
1398年4月17日-09:00|日本|京都府京都市北区|応永5年4|足利義満、北山殿に移る
1398年4月17日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|応永5年4月|今川蒲原越後守直忠、父氏兼(蒲原庄で没)菩提の為、岩戸山龍雲寺(静岡市清水区蒲原町8幡町)を再建
1398年4月28日 00:00|イギリス| |||<就任>オルバニ公「ロバート・ステュアート」バカン伯(〜14060920息子に伯爵領を与えた)
1398年5月-01:00|ボスニア=ヘルツェゴビナ| |||<即位>ボスニア王「ステパン・オスタヤ」(1回目〜1404年5月)
1398年5月11日-01:00|イタリア| |||ミラノ公ジャン・ガレアツォがマントヴァ侯フランチェスコ・ゴンザーガと10年間の休戦協定を結ぶ
1398年6月7日-09:00|日本| |||応永5年閏4月22日<辞任>室町幕府管領・信濃・越前国守護「斯波義将」隠居、家督も子の義重に譲る

1410迄 (1306件)

1398年6月7日-09:00|日本| ||応永5年閏4月22日|<任命>越前国守護「斯波義重」(〜応永25年8月10日(14180910)死去)
1398年6月7日-09:00|日本| ||応永5年閏4月22日|<任命>信濃国守護「斯波義重」(〜応永6(1399)年10月21日)
1398年6月24日-08:00|中国| ||明・洪武31年閏5月10日|<死去>明初代皇帝「太祖洪武帝(朱元璋)」/69歳(誕生:13280918)
1398年6月28日-09:00|日本| ||応永5年5月14日|<死去>直仁親王(64歳)花園天皇の皇子
1398年6月30日-08:00|中国| ||明・洪武31年閏5月16日|<即位>明第2代皇帝「惠宗建文帝(朱允㮮ン)」洪武帝の皇太子朱標の子(〜建文4年1402年7月13日)
1398年7月20日 00:00|イギリス| ||<死去>アルスター伯・マーチ伯「ロジャール・モティマー」
1398年7月20日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副王代行「グレイト・ルシ卿レグナルド・デ・グレイ」(〜10.7)
1398年7月20日 00:00|イギリス| ||<就任>マーチ伯・アルスター伯「エドモンド・モティマー」先代の子(〜14250128死去)
1398年8月-01:00|アンドラ| ||<死去>アンドラ公国共同大公「フォア伯爵マチュ」
1398年8月-01:00|アンドラ| ||<就任>アンドラ公国共同大公「フォア伯爵イザベル」(〜1428年死去)、「フォア伯爵Archambaud」(〜1412年死去)
1398年8月2日-09:00|日本| ||応永5年6月20日|<任命>室町幕府管領「畠山基国」(〜応永12(1405)年7月4日)
1398年8月7日-09:00|日本|京都府京都市上京区|応永5年6月25日|足利義満、鹿苑院に三重宝塔を建立
1398年9月9日-02:00|パレスチナ/キプロス/トルコ| ||<死去>エルサレム王・キプロス王国・ギリシア・アルメニア王国国王「ジャック1世」
1398年9月9日-02:00|パレスチナ/キプロス/トルコ| ||<即位>エルサレム王・キプロス王国国王「ジャンヌ」兼ギリシア・アルメニア王国国王「ヤヌス」(〜14320629死去)
1398年9月23日-09:00|日本| ||応永5年8月13日|<任命>尾張国守護「畠山基国」(〜応永6(1399)年)
1398年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「コッツィオ・デ・イ・ムッチョリノ」「リコーネ・デ・イ・ジョヴァンニ」
1398年10月6日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・洪武30年8月26日|李成桂の五男芳遠が反乱を起こし芳碩を殺す(第一次王子の乱)
1398年10月7日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副王「ケント伯・サリ公トマス・デ・ホランド」(〜13990529)
1398年10月14日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・洪武30年9月5日|<即位>李氏朝鮮国王「定宗(李光遠)」(〜14001128退位)
1398年10月14日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・洪武30年9月5日|<退位>李氏朝鮮国王「太祖(李成桂)」国事を放棄
1398年11月9日-09:00|日本| ||応永5年10月|大内義弘は幕命により探題の命に従わなかった少武貞頼や菊池武朝らの軍を破っている
1398年12月12日-01:00|ホーランド| ||<死去>レグニツァ公「ハンリ-8世」
1398年12月12日-09:00|日本| ||応永5年11月4日|<死去>関東管領「足利氏満」42歳
1398年12月12日-09:00|日本| ||応永5年11月4日|<任命>鎌倉公方「足利満兼」(〜応永16(1409)年7月22日)
1398年12月17日-05:30|インド/ウズベキスタン| ||アミール・タメルラン(ティムール)がデリーを占領し、略奪
1398年12月18日-05:00|ウズベキスタン/インド| ||ティムール軍がインドのデリーに入城して破壊と略奪
1398年12月30日-01:00|ドイツ| ||<死去>スポンハイム・シュタルケンブルク伯「John3世」
1399年-08:00|モンゴル| ||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「エルベク・クニグレスチ・ハーン」殺害される
1399年-08:00|モンゴル| ||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「クン・テムル」(〜1402年没)
1399年-07:00|タイ| ||<即位>スコータイ王朝国王「マハ・タンマラーチャ-3世」(〜1419年)
1399年-05:30|インド| ||<即位>ジャウンプル・スルターン朝「シャムスッディーン・ムハ-ラク・シャー」(〜1402年)
1399年-05:30|インド| ||<即位>ファルギー朝ハン「Nasir Khan」(〜1437年)
1399年-05:30|インド| ||<即位>マイソール王国(デヤ朝)国王「ヤトウ-ラーヤ」(〜1423年死去)
1399年-05:30|インド| ||インドでフィロース、ハリハラ2世軍撃破
1399年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| ||<死去>ジョチ・ウルス・ハン「Temur Qutlugh」
1399年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| ||<即位>ジョチ・ウルス・ハン「Shadi Beg」(〜1407年死去)
1399年-05:00|ウズベキスタン| ||<即位>モグーリスタン・ハン国ハン「シャムイ・ジャハーン」ヒズル・ホージャの子(〜1406年)
1399年-04:00|ロシア| ||<即位>モスコフスキー・ナメスニコ「イヴァン・フセヴ・オロト・ウイチ」(〜1399年)
1399年-03:30|イラン| ||<即位>パダーシャニド朝君主「Kayumarth1世」(〜1453年)
1399年-02:00|ギリシア/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「アルバ-ノ・パトリ」(〜1401年)
1399年-02:00|エジプト| ||<即位>ブルギー-マムルーク朝第2代スルタン「ナシール・ファラジュ」(〜1405年)
1399年-01:00|アルバニア/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのデュラツォ執達吏・長官「ピエトロ・モチエーゴ」(〜1400年)
1399年-01:00|フランス| ||<就任>エタンブ伯「John」ヘリー公(〜14160615死去)
1399年-01:00|マルタ/イタリア| ||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giulio Ricciari」(〜1403年)
1399年-01:00|アルジェリア| ||<即位>ザイヤン朝スルタン「アフ-ム-1世」(〜1401年)
1399年-01:00|イタリア| ||<復位>ナポリ王「ラディスラオ1世」(〜14140806死去)
1399年 00:00|イギリス| ||<就任>アランデル伯「トマス・フィッツアラン」(〜14151013死去)
1399年 00:00|モロッコ| ||<即位>マリーン朝スルタン「アフ-サイード・ウスマーン3世」(〜1420年)
1399年 00:00|イギリス| ||<剥奪>初代アルバ-マール公爵「エドワード・オブ・ノリッジ」
1399年 00:00|イギリス| ||<剥奪>初代エクセター公「ジョン・ホランド」(〜14000116処刑された)
1399年1月17日-09:00|日本| ||応永5年12月10日|<死去>正親町三条治子(不明)伏見宮栄仁親王の御息所
1399年2月3日 00:00|イギリス| ||<死去>初代ランカスター公・アキーン公・リッチモンド伯・ダービー伯・レスター伯「ジョン(オブ・コーント)」
1399年2月3日 00:00|イギリス| ||<就任>2代ランカスター公・ダービー伯「ヘンリー(ホリングブルック)」(〜9.30ヘンリー-4世として即位)

1410迄 (1306件)

兼リスター伯 (~14130320死去) ヘルフォード 公

- 1399年2月6日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・建文1年|この年、李氏朝鮮、開城に再遷都
1399年2月6日-08:00|中国| ||明・建文1年|<死去>モグーリス・ハン国ハン「ヒスル・ホージャ」
1399年2月6日-08:00|中国| ||明・建文1年|<即位>モグーリス・ハン国ハン「シャムイ・ジャハン」 (~1408年死去)
1399年2月6日-08:00|中国| ||明・建文1年1月1日|明・建文と改元
1399年2月7日-09:00|日本| ||応永6年|<交替>山城国守護「結城満藤」⇒「京極高詮」 (~同年) ⇒「結城満藤」再任 (~
応永9 (1402) 年)
1399年2月7日-09:00|日本|静岡県浜松市南区|応永6年|的伝一着、弟子の快宗一如に臨済宗方広寺派大通山瑞雲
寺 (浜松市佐藤町) を譲り、禅定山大通院 (新橋町) を開創
1399年2月7日-09:00|日本|静岡県富士宮市|応永6年|純白融清、富士浅間大社大宮司富士駿河守成時の寄進を受
け、広国山先照寺 (大中里) 創立
1399年2月7日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|応永6年1月|僧良弁、尾張国三腰の極楽寺恵光院に不動明王像を
造立
1399年2月19日-01:00|イタリア| ||ミラノ公が、ヒザを取得
1399年3月4日 00:00|イギリス| ||<死去>デズモンド伯「ジョン・フィッツ・エルト」
1399年3月4日 00:00|イギリス| ||<就任>デズモンド伯「トマス・フィッツ・エルト」 (~1418年退任)
1399年3月24日 00:00|イギリス| ||<死去>ノーフォーク女公「マーガレット」
1399年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョバンニ・ディ・ギンディーノ」 「シモーネ・ディ・ベルツォ」
1399年4月7日-09:00|日本| ||応永6年3月|<任命>稲村公方「足利満貞」 (~永享11 (1439) 年2月10日自害)
1399年4月7日-09:00|日本| ||応永6年3月|<任命>篠川公方「足利満直」 (~永享12年6月24日 (14400723) 死去))
1399年4月17日-09:00|日本|奈良県奈良市|応永6年3月11日|興福寺金堂供養
1399年4月23日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア対立総督「アレクサンドル・サナ」 (~1400年)
1399年5月6日-09:00|日本|愛媛県今治市|応永6年4月|賀茂神社を菊万荘遍照院境内に造営
1399年5月24日-09:00|日本| ||応永6年4月19日|<就任>関白「一条経嗣」 (~応永15年4月20日)
1399年6月20日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| ||<死去>ブルグ朝スルタン「ザ・ヒル・ハルケク」
1399年6月20日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| ||<即位>ブルグ朝スルタン「ナシル・ファラジュ」 (1期目 ~14050920)
1399年7月-01:00|モンテネグロ| ||<就任>カトリック伯「ヒアジ・オ・アラソ」 (~8月)
1399年7月4日 00:00|イギリス| ||追放中のジョンの息子のヘンリーが、ヨークシャーで挙兵
1399年7月17日-01:00|ポーランド| ||ヤドヴァイトが死去 / (誕生: 1369)。ポーランド女王
1399年7月24日 00:00|アイルランド / イギリス| ||<就任>アイルランド 副王代行「ミス司教アレクサンドル・デ・バルスコット」 (~14000312
没)
1399年8月-02:00|トルコ| ||オスマン朝バヤズィット1世がエルズタン、マテリアに侵攻
1399年8月-01:00|モンテネグロ| ||<就任>カトリック伯「フレス・ゴリアテ」 (~10月)
1399年8月2日-08:00|中国| ||明・建文1年7月|明で燕王が挙兵し、靖難の役がおこる
1399年8月12日-03:00|ベラルーシ| ||<死去>ルコムリ公「アントリュス・アルギル・イリス」
1399年8月19日 00:00|イギリス| ||イングランドで、リチャード2世が、ヘンリーに降伏
1399年9月6日-01:00|イタリア| ||シエナがミラノ公国の支配下に入る
1399年9月27日 00:00|イギリス| ||<死去>ノーフォーク公・ノッティンガム伯「トマス・ド・モフレー」
1399年9月27日 00:00|イギリス| ||<就任>ノーフォーク伯・ノッティンガム伯「トマス・ド・モフレー」 (~14050608死去)
1399年9月29日 00:00|イギリス| ||<退位>イングランド王「リチャード2世」 (~14000214死去33歳)
1399年9月30日-01:00|フランス| ||<即位>アキテーヌ公「アンリ3世」イングランド王ヘンリー4世 (~14130320)
1399年9月30日 00:00|イギリス| ||<就任>ノーサンブトン伯「女伯アン」 (~14381016死去)
1399年9月30日 00:00|イギリス| ||<就任>ランカスター公・コーンウォール公「ヘンリー・オブ・モンマス」 (~14130321イングランド王ヘンリー5世、
以降はノルマンディー公、マン島領主等とともにイングランド王とともに継承される称号)
1399年9月30日 00:00|イギリス| ||<即位>イングランド王「ヘンリー4世」ボリングブルック「ジョン・オブ・ゴート」とブランドシュ・オブ・ランカス
ターの男子 (~14130320死去46歳)
1399年10月-05:00|ウズベキスタン/シリア・アラブ| ||ティムールが第4次西征を開始し、アレクサンドリアとダマスカスを占領
1399年10月-01:00|モンテネグロ| ||<就任>カトリック伯「マシュー・デ・パルマ」 (~11月)
1399年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「マルティン・ディ・ゲロ・デ・ピストルジ」 「アントニオ・ディ・テニヤ」
1399年10月13日 00:00|マン島| ||<死去>マン王「William3世 le Scrope」
1399年10月13日 00:00|マン島/イギリス| ||マン島はイギリス王領に没収
1399年10月14日-09:00|日本|京都府京都市上京区|応永6年9月15日|足利義満が相国承天禅寺七重大塔建立 (109m
、落雷で焼失)
1399年10月19日 00:00|マン島/イギリス| ||<就任>マン王「ヘンリー・パーシー」 (~14050810)
1399年10月20日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|応永6年9月21日|山名氏清の子息、宮田時清・宮田氏明、丹波に蟄
居せしが、一揆を起こし、畑の城に籠る
1399年10月29日-02:00|ギリシャ| ||<死去>アルバの領主「ギン・フ・ア・シュパタ」
1399年11月-01:00|モンテネグロ| ||<就任>カトリック伯「マリノ・トラコ」 (~12月)
1399年11月1日-01:00|フランス| ||<死去>ブルグニュ公・リッチモンド伯「ジャン4 (5) 世征服公」
1399年11月1日-01:00|フランス| ||<即位>ブルグニュ公「ジャン5 (6) 世賢公」ジャン4世とジャンヌ・ド・サヴァールの長男 (~144208
29死去52歳)
1399年11月11日-09:00|日本|大阪府堺市|応永6年10月13日|<応永の乱 (和泉国、山城国)>大内義弘は和泉国堺ま

1410迄 (1306件)

で多数の軍勢を率いて東上、そこから動こうとしなかった

1399年11月19日-09:00|日本| ||| 応永6年10月21日|<交替>信濃国守護「斯波義重」⇒「小笠原長秀」(~応永8(1401)年更迭)

1399年11月28日-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア総督「スティヴン1世」

1399年11月28日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「イガ・オグル」ロマン1世の息子(14000629廃位~14000719死去)

1399年11月28日-09:00|日本|愛知県| 応永6年11月|土岐詮直、大内義弘に呼応して、尾張国に攻め入る

1399年12月-01:00|モンテネグロ| |||<就任>カトリック「ミケレ・ブツキ」(~1400年4月)

1399年12月12日-09:00|日本|岐阜県岐阜市| 応永6年11月15日|土岐氏の惣領である土岐頼益は長森城に拠る詮直らを殲滅

1399年12月15日-09:00|日本|長野県長野市| 応永6年11月18日|丹波国では、明德の乱に敗れた山名氏清の嫡子・宮田時清が兵を挙げ追分宿まで進出したが、義満は山名時熙・氏之兄弟を差し下して迎撃させ時清・満氏・熙氏らを討ち取った/丹波国の宮田勢も鎮圧された

1399年12月17日-09:00|日本| ||| 応永6年11月20日|<死去>淡路国守護「細川満春」満俊が継ぐ(~不詳)

1399年12月18日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市| 応永6年11月21日|大内義弘の挙兵に呼応し、義満と疎遠になっていた鎌倉公方足利満兼が、幕府援助を名目にして西へ向かって挙兵

1399年12月26日-09:00|日本|大阪府堺市| 応永6年11月29日|<堺の戦い(和泉国)>朝より幕府軍が内義弘の堺城への攻撃開始/幕府軍が要害越しに殺到すると、城中の櫓からは弓が射かけられ、互いに譲らない激しい攻防戦となった。そのうち畠山基国軍が城の北口にたどり着き、一の木戸・二の木戸を破って三の木戸に攻撃をかけはじめた。幕府軍はここに畠山満家・山名時熙軍を投入し、大内軍では杉弘信・杉重明・野上豊前らが駆けつけ、この日の最も激しい戦闘が展開された/義弘は四方の戦いを指揮して廻っていたが、ここが最も重要な戦いと見て取り、自ら2百余騎をもって援護し、ここを持ちこたえることができた/東口では幕府軍の京極・六角・小笠原隊が義弘の弟・大内弘茂が率いる軍勢と渡り合い、夜半に至るまで戦った/敵味方とも朝からの激戦に疲れ果てて決着はつかず、幕府軍が本陣に兵を退かせたため、辛くも大内軍が持ちこたえた

1400年-12:00|ニュージーランド| |||ホリソニア人がチャム諸島へ移住

1400年-08:00|マレーシア/ブルネイ| |||サラワクはブルネイの一部(~1599年)

1400年-07:00|タイ| |||<即位>スコタイ王朝(アユタヤ王朝宗主権下)国王マハタナマラーチャー3世[マハタナマラーチャー2世の息子](~1419年)

1400年-05:30|インド| |||ラタック国は東のレーとシェイ、西のバスコとテミスガンを首都を置く2つの王国に分かれた(~1470年)

1400年-03:00|イェメン| |||<即位>ハスル朝スルタン「ナジール・アーマット」(~1424年)

1400年-03:00|ウガンダ| |||フンヨロキタラ設立

1400年-02:00|ギリシャ| |||<就任>アルバの領主「スクロ・ブ・ア・シュバ」(~1401年)

1400年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデューラツォ執達吏・長官「ジョヴァンニ・ヴァレツツ」(~1403年)

1400年-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事「イェンス・デュー」(1回目~1409年)

1400年-01:00|オランダ| |||カイはゲルダースに売却された(~1492年)

1400年 00:00|イギリス| |||<死去>ダグラス伯「Archibald Douglas」

1400年 00:00|アイルランド| |||<死去>トモント王「フライアン・スリームハッ・オー・ブリアン」

1400年 00:00|イギリス| |||<就任>サリ伯「トマス・フィッツアラン」アランデル伯(~14151013死去)

1400年 00:00|イギリス| |||<就任>ダグラス伯「Archibald Douglas」(~14240817戦死)

1400年 00:00|アイルランド| |||<即位>トモント王「コンチョール・マック・マスカム・オー・ブリアン」マスカム・マイン・マオンハイグ・オー・ブリアンとウ・ニー・コンチョールの息子(~1426年没)

1400年 00:00|マリ| |||<即位>マリ帝国マンサ「ムサ3世」(~1440年)

1400年 05:00|ペルー| |||アンデス中央部にインカ帝国が興隆

1400年1月3日-09:00|日本|長野県長野市| 応永6年12月7日|山名氏清の子宮田左馬助時清丹州より攻めあがる所、今川泰範66歳、森口城攻めの軍勢を休めずして追分宿に陣し待つ/防戦の先陣勝間田遠江守・名児耶三郎討死/今川泰範攻め寄せ宮田左馬助時清を敗走させる

1400年1月7日 00:00|イギリス| |||<死去>初代サリ公・第3代セント伯「トマス・セント」

1400年1月7日 00:00|イギリス| |||<死去>ソールズベリー伯「ジョン・モンタキュート」剥奪

1400年1月7日 00:00|イギリス| |||<就任>第4代セント伯「エドモンド・セント」(~14080915死去)

1400年1月14日-09:00|日本|宮崎県| 応永6年12月18日|日向山東地方各所で一揆

1400年1月16日 00:00|イギリス| |||<死去>ハンティントン伯「ジョン・セント」

1400年1月17日-09:00|日本| ||| 応永6年12月21日|<死去>和泉・紀伊・周防・石見・長門・豊前国守護「大内義弘」討死/45歳

1400年1月17日-09:00|日本| ||| 応永6年12月21日|<任命>紀伊国守護「畠山基国」(~応永13年1月17日(14060205)死去)

1400年1月17日-09:00|日本| ||| 応永6年12月21日|<任命>周防・長門国守護「大内弘茂」(~応永8年12月29日(14020201)死去)

1400年1月17日-09:00|日本| ||| 応永6年12月21日|<任命>石見国守護「京極高詮」(~応永9(1402)年)

1400年1月17日-09:00|日本| ||| 応永6年12月21日|<任命>豊前国守護「渋川満頼」(~応永7(1400)年3月)

1400年1月17日-09:00|日本|大阪府堺市| 応永6年12月21日|<堺の戦い(和泉国)>幕府軍は再度の堺総攻撃/木材を三脚のように高く組み上げて火をつけ、それを井楼や櫓に倒しかけて焼き払うという策を用いた幕府軍の突入

1410迄 (1306件)

を阻んでいた井楼・櫓はたちまちのうちに噴煙に包まれ城兵が逃げ惑う隙に乗じて幕府軍は木戸を乗り越え、一挙に猛攻をしかけた/城兵は必死に防戦するも兵力の差は如何ともしがたく、大内軍の名のある将も次々と討たれていった/義弘は手勢を率いて斯波義将・義種隊へ猛然と切りかかり、この軍勢を切り割って畠山満家の隊へと突撃/しかし数に勝る畠山隊の必死の応戦の前に大内隊は次々と討たれていき、ついには義弘も壮烈な最期を遂げた/大将の義弘が討死したことが知れると、大内軍の諸将も相次いであとを追って討死あるいは降伏し、大内勢は壊滅/東の陣に在って奮戦していた弘茂も自害しようとしたが、家臣に諫められて降伏し、のちに赦免されて周防・長門の2国を安堵されている/城郭を焼き尽くした炎は延焼し、堺の1万軒の家屋を焼き払った

1400年1月17日-09:00|日本|大阪府堺市|応永6年12月21日|戦火が強風にあおられ堺の街に延焼、町家1万軒が全焼

1400年1月26日-09:00|日本|沖縄県|明・建文2年|<死去>琉球北山国王「珉」

1400年1月26日-07:00|ベトナム||大虞・聖元1年|<死去>チャンパ王「羅嚨(ジャ・シンハグアルマン6世、閣勝)」

1400年1月26日-07:00|ベトナム||大虞・聖元1年|<即位>チャンパ王「巴的吏(インドラグアルマン6世)」(~1441年死去)

1400年1月27日-09:00|日本||応永7年|<交替>土佐国守護「細川満元」⇒「細川基之」「細川頼長」(~応永9(1402)年)

1400年2月6日-09:00|日本||応永7年1月11日|<交替>遠江東半国守護「今川貞世(了俊)」,遠江西半国守護「今川仲秋」解任⇒遠江国守護「今川泰範」(~応永12(1405)年7月)

1400年2月6日-09:00|日本||応永7年1月11日|<変更>駿河西半国守護「今川泰範」;駿河東半国守護「今川貞世(了俊)」解任⇒駿河国守護「今川泰範」(~応永16年9月26日(14091103)死去)

1400年2月6日-09:00|日本||応永7年1月11日|足利義満が上杉憲定に今川了俊を攻めさせる/了俊は降伏して藤沢に引退

1400年2月14日 00:00|イギリス||イギリスの前王リチャード2世が暗殺される。33歳(誕生:13670109)

1400年2月15日 00:00|イギリス||<死去>10代オックスフォード伯「オブリー・ド・グィア」

1400年2月15日 00:00|イギリス||<就任>11代オックスフォード伯「リチャード・ド・グィア」先代の子(~14170215死去)

1400年2月24日-09:00|韓国/朝鮮||朝鮮・建文2年1月30日|李氏朝鮮第二次王子の乱/政治的実権を握っていた靖安君・李芳遠(太祖の五男、のちの太宗)が、同腹の兄懷安君・李芳幹(太祖の四男)の反乱を鎮圧し、自らは王世弟となって王位の継承を確立

1400年3月12日 00:00|アイルランド/イギリス||<死去>アイルランド 副王代行「ミス司教アレクサンドル・デ・ハルスコット」

1400年3月12日 00:00|アイルランド/イギリス||<就任>アイルランド 副王「ジョン・デ・スタンリー」(1回目~14011113)

1400年3月21日-01:00|イタリア||ミラノ公国が、ヴェネツィアと和平

1400年3月23日-07:00|ベトナム||大虞・聖元1年2月28日|<譲位>陳朝(大越) 皇帝「少帝」陳朝は滅びる

1400年3月23日-07:00|ベトナム||大虞・聖元1年2月28日|<即位>胡朝(大虞) 初代皇帝「胡季珙」(~1401年)建国/聖元と改元

1400年3月26日-09:00|日本||応永7年3月|<交替>伊勢北半国・志摩国守護「仁木義員」⇒「土岐康行」(~応永11年10月6日(14041108)死去)

1400年3月26日-09:00|日本||応永7年3月|<任命>尾張国守護「斯波義重」(~応永25年8月10日(14180910)死去)

1400年3月26日-09:00|日本||応永7年3月|<任命>豊前国守護「少貳貞頼」(応永11(1404)年)

1400年3月26日-09:00|日本||応永7年3月|<任命>和泉国守護「仁木義員」(~応永10(1403)年)

1400年3月29日-09:00|日本|愛知県一宮市|応永7年3月4日|尾張国妙興寺、焼失

1400年4月-06:30|ミャンマー||<即位>アワ王「タビヤ」(~11.25)

1400年4月-01:00|モンテネグロ||<就任>カトリック伯「マリノ・メカ」(~1417年)

1400年4月1日-01:00|サンマリノ||<就任>サンマリノ共和国執政「パオリノ・デ・ジョヴァンニ・デ・イ・ビアンコ」「フランチェスコ・デ・イ・コルベッロ」

1400年4月25日-09:00|韓国/朝鮮||朝鮮・建文2年4月|李氏朝鮮で私兵を廃止し官制改革、議政府設置

1400年6月5日-01:00|ドイツ||<死去>ブラウシュヴィーク=グオルフェンビュッテル侯「フリードリヒ1世」暗殺された

1400年6月5日-01:00|ドイツ||<就任>ブラウシュヴィーク=グオルフェンビュッテル侯「ハインリヒ1世」フリードリヒ1世の弟、グオルフェンビュッテル侯領を継承(~1409年~14161014死去),「ヘルハルト1世」ハインリヒ1世の兄、リュネブルグ侯領を継承(~1428年~14340611死去)

1400年6月29日-02:00|ルーマニア||<解任>モルダヴィア総督「イヴァ・オグレル」(~14000719死去)

1400年6月29日-02:00|ルーマニア||<就任>モルダヴィア総督「アレクサンドル・ロサ善侯」(~14320101死去)

1400年8月20日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア||<廃位>神聖ローマ帝国皇帝・イタリア王「ヴェンツェル」4人のライン選帝侯により(~14190816死去)

1400年8月20日-09:00|日本||応永7年8月|<死去>奥州管領「宇都宮氏広」戦死

1400年8月20日-09:00|日本||応永7年8月|<任命>奥州探題「大崎詮持」(~同年死去)⇒「大崎満持」(~応永13(1407)年)

1400年8月21日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア||<即位>ドイツ王・イタリア王・ライン宮中伯「ルドルフ」ルートヴィヒ4世の曾甥孫(~14100518死去)

1400年9月16日 00:00|イギリス||<即位>グウィネト公「オウエイン・グリントール・アブ・ゲルワイド」(~14150921)

1400年9月26日-09:00|日本|青森県八戸市|応永7年9月8日|葛西満信・大崎詮持は四本松の探題・宇都宮氏広(越中守)を討ち取った

1400年10月1日-01:00|サンマリノ||<就任>サンマリノ共和国執政「カオリノ・デ・ジョヴァンニ」「ベッティ・デ・イ・ゲロロ」

1400年10月12日-09:00|日本|長野県長野市|応永7年9月24日|<大塔合戦(信濃国)>更級郡篠ノ井西方四ノ宮河原や大塔で信濃守護小笠原長秀と東北信の連合軍が戦い、長秀は敗れて大井光矩の和睦斡旋によって京都にのがれ

1410迄 (1306件)

た

1400年10月25日 00:00|イギリス| |||<死去>ジェフリー=チョーサー/英の詩人「英誌の父」「カンタベリー物語」
1400年11月-05:00|ウズベキスタン/シリア・アラブ| |||ティムール軍がアレクサンドリアへ侵攻
1400年11月3日-09:00|日本|長野県長野市|応永7年10月17日|小笠原長秀の部将坂西長国等、更級郡大塔に籠城して、祢津遠光等大文字一揆等と戦ふ、是日、長国の軍、敗れて、多く戦死
1400年11月6日-09:00|日本|長野県長野市|応永7年10月20日|村上満信・大文字一揆等、更級郡四宮に小笠原長秀を攻む、尋で、同郡塩崎城に攻めて之を破る、大井光矩、和を斡旋し、長秀、京都に奔る
1400年11月23日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドージェ(元首)「アントニオ・ヴェニエ」
1400年11月25日-06:30|ミャンマー| |||<即位>アワ王「シカウ1世」(~1421年10月)
1400年11月28日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・建文2年11月13日|<譲位>李氏朝鮮国王「定宗(李光遠)」上王に退く
1400年11月28日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・建文2年11月13日|<即位>李氏朝鮮国王「太宗(李芳遠)」(~14180909退位)
1400年12月1日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ(元首)「ミケレ・ステノ」(~1413年)
1401年-08:00|インドネシア| |||(~1406)マジャパヒト王国:第5代国王グアイラム・アルダナと、その義弟グアイラム・ミとの間で王位継承を巡る内戦
1401年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「ティンカウ」(~1404年)
1401年-05:30|インド| |||<即位>マルワー=スルターン朝(ゴール朝)スルターン「デイル・ワル・ハーン」マルワ地方総督のゴリーが独立(~1406年)
1401年-04:00|ジョージア| |||<死去>イメレティ王「コンスタンティヌス2世」グルジア王国に併合
1401年-04:00|ジョージア| |||<就任>イメレティ公「デメトリウス1世」(~1455年死去)グルジア王アレクサンドロス1世によってのみ公爵として認められた
1401年-04:00|ロシア| |||<即位>金帳ハン国(白帳)ハン「シャディ・ベク」(~1407年)
1401年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキー=ナメストニク「ダニール・アレクサンドロヴィチ」(~1407年)
1401年-04:00|ロシア| |||<復位>スモレンスク公「ユリー・スヴャトスラヴィチ」(2期目~1404年)
1401年-02:00|ラトビア/エストニア/ドイツ| |||<死去>リガニア騎士団団長「ヴェンネマル・フォン・ブリュッケナー」
1401年-02:00|ギリシャ| |||<就任>アルカの領主「ヤコブ・ブ・ア・シュバタ」(~14161001死去)
1401年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティエラ公「マルコ・ファリエ」(~1403年)
1401年-02:00|ラトビア/エストニア/ドイツ| |||<就任>リガニア騎士団団長代行「ベルンハルト・ヘーヴェルマン」(~10. 21)
1401年-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「アンドレイ」(~1410年)
1401年-02:00|ウクライナ/ロシア/ベラルーシ| |||<廃位>チェルニヒウ大公「フリヤンスク公」「ロマン2世・ミハイロヴィチ」リトアニアによる併合
1401年-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン=ラウエンブルク公「ベルグドルフ=メルン系「エーリヒ3世」ベルグドルフ=メルン系断絶⇒ラッツェンブルク=ラウエンブルク系が公国を統合
1401年-01:00|スペイン| |||<就任>アンプurias伯「Peter 3世」(~1402年)
1401年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「Peter d' Evreux」(~1412年)
1401年-01:00|アルジェリア| |||<即位>サイヤーン朝スルターン「アフマド・アフマド・ウラー1世」(~1411年)
1401年-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン=ラウエンブルク公「エーリヒ4世」(~14120621)
1401年-01:00|リトアニア/チェコ| |||トリボリタニアはチェコに編入(~1482年)
1401年1月15日-09:00|日本| ||応永8年|<交替>筑後国守護「大友親世」隠居⇒甥の「大友親著」(~応永33年11月29日(14261227)死去)
1401年1月15日-09:00|日本|沖縄県|明・建文3年|<即位>琉球北山国王「攀安知」(~1416年死去滅亡)
1401年1月15日-09:00|日本|香川県三豊市|応永8年|常德寺円通殿(現、仁尾町)造営
1401年1月15日-09:00|日本|京都府京都市上京区|応永8年|足利義満、北野経王堂を建立
1401年1月15日-09:00|日本|静岡県浜松市|応永8年|臨済宗方広寺派の長伝寺(和田町)創建
1401年1月15日-07:00|ベトナム| ||大虞・紹成1年|<譲位>胡朝(大虞)初代皇帝「胡季珪」
1401年1月15日-07:00|ベトナム| ||大虞・紹成1年|<即位>胡朝(大虞)2代皇帝「胡漢蒼」(~14070511明軍の捕虜になる)/紹成と改元(~1402年)
1401年1月15日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|応永8年1月|如仲天閻、天方城主山内対馬守道美に招かれ、曹洞宗飯田山崇信寺(飯田)開山
1401年3月4日-02:00|シリア・アラブ| |||タマサスはティムール=レンクに略奪された
1401年3月31日-09:00|日本| ||応永8年2月17日|<交替>信濃国守護「小笠原長秀」更迭⇒「斯波義将」(~応永9(1402)年5月幕府直轄)
1401年4月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ミクロシュ・チャキ」(1回目~1403年5月)
1401年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョハニ・デ・イ・フランシスコ」「ベッティノ・デ・イ・パオロ」
1401年4月8日 00:00|イギリス| |||<死去>ウォリック伯「トマス・ド・ビーチャム」
1401年4月8日 00:00|イギリス| |||<就任>ウォリック伯「リチャード・ド・ビーチャム」先代の子(~14390430死去)
1401年4月12日-09:00|日本|京都府京都市|応永8年2月29日|土御門内裏炎上
1401年4月15日-09:00|日本| ||応永8年3月2日|<任命>備後国守護「山名時熙」(~永享5(1433)年8月9日隠居)
1401年4月16日-09:00|日本|鹿児島県志布志市|応永8年3月3日|<犬の馬場合戦>櫛間の本田忠親、志布志を攻め、熊田原兄弟ほか戦死
1401年5月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王代行「ウィリアム・デ・スタンリー卿」(~8. 23)
1401年5月18日-01:00|ポーランド| |||<死去>ボレー公「ウラディスワフ・ボレーチ」
1401年5月25日-01:00|イタリア| |||<死去>シチリア王「マリア」

1410迄 (1306件)

1401年5月27日-09:00|日本|京都府京都市上京区|応永8年4月14日|相国寺法堂出来る
 1401年6月24日-09:00|日本/中国| ||応永8年5月13日|足利義満、博多の豪商肥富某・禅僧祖阿らを第1回遣明使として派遣
 1401年7月10日-05:00|ウズベキスタン/イラク| ||ティムールが再度バグダットを侵略し、住民を虐殺
 1401年8月22日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「李舒」(~14020519)
 1401年8月23日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副王代行「スコープ 卿ステファン・ル・スコープ」(~11. 13)
 1401年8月31日-01:00|イタリア| ||ベネチア、トラーニの通商についての条約
 1401年9月8日-09:00|日本|愛知県豊田市|応永8年8月|藤原長安、三河国猿投八王子社の社殿を再興
 1401年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトリノ・デ・イ・アントニオ」「ミケリーノ・デ・イ・パ・オルツォ」
 1401年10月2日-09:00|日本|長野県下伊那郡阿南町|応永8年8月25日|下伊那郡富草村八幡社の神像、成る
 1401年10月14日-09:00|日本| ||応永8年9月7日|<死去>飛驒・出雲・隠岐国守護「京極高詮」高光が継ぐ(~応永20年8月19日(14130914)死去)
 1401年10月21日-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| ||<就任>リガ・オニア騎士団団長「コンラート・フォン・ヴァーティンゲン・ホフ」(~14130214没)
 1401年11月5日-09:00|日本|兵庫県多可郡多可町|応永8年9月29日|金蔵寺蔵薬師如来坐像、開眼
 1401年11月13日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副王「ランカスターのトマス・オブ・ランタニネット」(~14040303)
 1401年12月6日-09:00|日本|沖縄県|応永8年11月|<死去>琉球南山国王「汪英紫」
 1402年-08:00|ブルネイ| ||<死去>ブルネイ・スルタン「ムハンマド・シャー」
 1402年-08:00|モンゴル| ||<死去>モンゴル帝国(北元) 皇帝「クン・テムル」
 1402年-08:00|ブルネイ| ||<即位>ブルネイ・スルタン「アブドゥル・マジッド・ハッサン」(~1408年死去)
 1402年-08:00|マレーシア| ||<即位>マラッカ王国スルタン「パ・ラメスワラ」建国(~1414年死去)
 1402年-08:00|モンゴル| ||<即位>モンゴル帝国(北元) 皇帝「オル・テムル・ハーン」(~1408年没)
 1402年-07:00|タイ| ||<即位>ランナー王国マラーイ朝国王「サム・ファンケン(サム・ラー・ファンケン)」(~1441年)
 1402年-05:30|インド| ||<即位>ジャウンプル・スルタン朝第3代スルタン「シャムスッディーン・イブラーヒム・シャー」(~1440年)
 1402年-04:00|ロシア| ||<即位>リャザン大公「フォート・2世オレゴワ・イチ」(~1408年~1427年死去)
 1402年-02:00|ギリシャ| ||<就任>アカイア公摂政「マリア・ザ・ツァリア」(~1404年)
 1402年-02:00|トルコ| ||<即位>アイドゥン侯国ベ・イ「Isaoglu Musa・ベ・イ」(~1403年)
 1402年-02:00|トルコ| ||<即位>サルハン侯国ベ・イ「Orhan・ベ・イ」(~1404年)
 1402年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<復位>アテネ公「アントニオ1世」(~1435. 1死去)
 1402年-02:00|トルコ| ||<復位>カラマニ朝ベ・イ「Sultanzade 2世 Mehmed Bey」(~1420年)
 1402年-02:00|トルコ| ||<復位>テケ侯国ベ・イ「Osman Celebi」(~1421年)
 1402年-02:00|ルーマニア/ポーランド| ||モルダヴィアはポーランドの家臣(~1456年)
 1402年-01:00|ポーランド/ドイツ| ||<死去>ボヘミア・シュテューブ公「バルニム5世」
 1402年-01:00|スペイン| ||<就任>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「マリア・エンリケ3世の長女、後のアラゴン王妃」(~1405年~14581004死去)
 1402年-01:00|スペイン| ||<就任>アンブリアス伯「Joana1世」(~同年)⇒「Maria de Luna」(~14061220死去)
 1402年-01:00|クロアチア/ハンガリー| ||<就任>クロアチアとダルマチア・バン「ラデ・イスラフ・グ・ルジ・エウ・アチ」(~1404年)
 1402年-01:00|クロアチア| ||<就任>スラヴォニア全土のバン「ラデ・イスラフ・グ・ルジ・エウ・アチ」(~1404年)
 1402年-01:00|フランス| ||<就任>ルテル伯「アントワヌ」(~1407年)ブラバント公
 1402年-01:00|スペイン| ||スペインがカナリア諸島への侵略を開始
 1402年-01:00|チェンジア| ||ハフス朝がトリポリを包囲し、これを服属
 1402年-01:00|ドイツ| ||ハンブルクが海賊同盟「イタリアン兄弟団」をヘルゴラントで破る
 1402年-01:00|ドイツ| ||ヘルゴラントはシュレースヴィヒ公国の一部(1470年確定)
 1402年 00:00|マリニジェール| ||<即位>ソングアイ王国国王「ムハンマド・ダオ」(~1410年)
 1402年2月1日-09:00|日本| ||応永8年12月29日|<死去>周防・長門国守護「大内弘茂」兄の盛見が継ぐ(~永享3年6月28日(14310806)戦死)
 1402年2月2日-07:00|ベトナム| ||大虞・紹成2年|大虞・ホ・ハントゥオン(胡漢蒼)がチャンパに侵攻、都を占領
 1402年2月3日-09:00|日本| ||応永9年|<交替>伊勢南半国守護「北畠顕泰」隠居⇒「北畠満雅」(~正長元年12月21日(14290125)戦死)
 1402年2月3日-09:00|日本| ||応永9年|<交替>山城国守護「結城満藤」⇒「畠山基国」(~応永10(1403)年)
 1402年2月3日-09:00|日本| ||応永9年|<任命>石見国守護「山名氏利」(~応永13(1406)年死去)
 1402年2月3日-09:00|日本| ||応永9年|<任命>淡路国守護「細川満久」(~応永11(1404)年)
 1402年2月3日-09:00|日本|沖縄県|応永9年1月|<即位>琉球南山国王「汪応祖」(~1413年死去)
 1402年2月16日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<死去>ゲルデルン公「ヴァイルヘルム1世(ウィルム1世)」兼ユーリヒ公「ヴァイルヘルム3世」
 1402年2月16日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<即位>ゲルデルン公「ライナルト4世(レイナウト4世)」兼ユーリヒ公「ライナルト6世」(~14230625死去)
 1402年2月19日-09:00|日本| ||応永9年1月17日|京都の西の空に大きな彗星が現れた
 1402年2月21日-09:00|日本|京都府京都市|応永9年1月19日|土御門新造内裏の諸門を建つ
 1402年3月1日-09:00|日本| ||応永9年1月27日|<死去>津守国量(65歳) 神職、歌人
 1402年3月4日-09:00|日本| ||応永9年2月|今川了俊「難太平記」著す
 1402年3月21日-09:00|日本|京都府京都市|応永9年2月18日|京都大火、春日川原辺の在家数軒、下京三条・四条の数百件焼失

1410迄 (1306件)

1402年3月26日 00:00|イギリス| |||<死去>ロシー公(スコットランド王位の法定推定相続人)・アソル伯・9代キャリック伯「デヴィット・ステュアート」

1402年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ゴッツォ・ディ・ムッチョリーノ」「ニコリーノ・ディ・ランドリーノ」

1402年4月4日-09:00|日本| |||応永9年3月2日|世阿弥[風姿花伝]完成

1402年5月19日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李居易」(~12. 11)

1402年6月14日-09:00|日本| |||応永9年5月14日|<解任>信濃国守護「斯波義将」信濃を料国(将軍に直属する国で、守護不設置)とした

1402年6月21日-09:00|日本|宮城県白石市|応永9年5月21日|陸奥伊達政宗叛す/満兼上杉氏憲をして之を討たしむ

1402年6月26日-01:00|イタリア| |||ミラノ公国が、フィレンツェとボローニャ軍を破る

1402年6月27日-01:00|イタリア| |||ボローニャが、ミラノ公国に降伏

1402年7月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>カリヤ諸島王「ファン4世・ド・ベテンケル」(~1418年)

1402年7月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||ファン・ド・ベテンケルはフェルペントウ島、ヒロ島、ランローテ島を征服し、カステル王の家臣として自分自身を王と宣言

1402年7月1日-09:00|日本|佐賀県三養基郡みやき町|応永9年6月|肥後の菊池武興一族の赤星氏は東肥前に進出し、探題の拠る綾部城を攻め東肥前の大半を占拠

1402年7月13日-08:00|中国| |||明・建文4年6月13日|<死去>明第2代皇帝「惠宗建文帝(朱元璋)」燕王軍は南京を陥落させその際の混乱により行方不明

1402年7月17日-08:00|中国| |||<即位>明第3代皇帝「成祖(太宗)永楽帝(朱棣)」(~永楽22年7月18日1424年8月12日)洪武帝の子、建文帝の叔父

1402年7月20日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国アミール「スレイマン・セルビ」(~14110217死去)

1402年7月20日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国スルタン「メフメト1世」先代の子(~14210526)

1402年7月20日-02:00|トルコ/ウズベキスタン| |||オスマン・トルコのバヤズィット1世が、アンカラの北西部チグハートでティムールの軍と戦闘を交えるが敗れ、退却

1402年8月-01:00|セルビア| |||<即位>セルビア専制君主「ステファン・ラザレヴィッチ」(~14270719)ラザレヴィッチ王朝

1402年8月1日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ヨーク公・初代ケンブリッジ伯「エドマント・オブ・ラングリー」

1402年8月1日 00:00|イギリス| |||<死去>ヨーク公・ケンブリッジ伯「エドマント・オブ・ラングリー」

1402年8月1日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代ヨーク公「エドワード・オブ・ノリッジ」(~14151025死去)兼第2代ケンブリッジ伯(~1414年辞職)ラランド伯

1402年8月8日-09:00|日本|静岡県掛川市|応永9年7月10日|九谷山平林寺、佐東山岩井寺(上内田)と改名

1402年9月2日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パライン「ミクロス・ガライ」(~1433年12月没)

1402年9月3日-01:00|イタリア| |||<死去>ミラノ公「ジャン・ガレアツォ・ヴェスコティ」

1402年9月3日-01:00|イタリア| |||<即位>ミラノ公「ジョヴァンニ・マリ・ア・ヴェスコティ」ジャン・ガレアツォの息子(~14120516暗殺された)

1402年9月15日-01:00|ルクセンブルク| |||<即位>ルクセンブルク公「ルイ・ド・ルアン」(ルクセンブルク公ヨーストが転売~14071123死去)

1402年9月15日-01:00|ルクセンブルク| |||<退位>ルクセンブルク公「ヨースト」ルイ・ド・ルアンに転売(⇒14071123、復位)

1402年9月27日-08:00|中国/日本| |||応永9年9月|足利義満が明の使節を北山第で接見し、明と国交を回復

1402年9月29日-09:00|日本| |||応永9年9月3日|<死去>四辻善成(77歳)左大臣、歌人、古典学者

1402年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョーネ・ディ・メンギーノ」「リゴ・ネ・ディ・ジョヴァンニ」

1402年10月1日-09:00|日本/中国| |||応永9年9月5日|明の使僧道彝・一如来朝/義満之を北山第に引見

1402年10月1日-09:00|日本|宮城県白石市|応永9年9月5日|伊達政宗降る

1402年11月5日-01:00|モコ/イタリア| |||ジェノヴァがモコを支配(~14190605)

1402年11月11日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「成石璘」(~14030423)

1403年-05:30|インド| |||<即位>ゲジャラト・スルターン朝スルターン「ムハマト・シャー1世(タール・ハン)」(~1404死去)

1403年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティエ公「トナソ・モチェーゴ」(~1405年)

1403年-02:00|トルコ| |||<即位>アイトゥン侯国ベイ「Musaoglu2世 Umur・ベイ」(~1405年)

1403年-02:00|エジプト| |||エジプトでペストが流行し、農村が荒廃し飢饉が蔓延する

1403年-02:00|トルコ| |||オスマン帝国が一時崩壊し、ティムールがトルコ系諸侯国を再建

1403年-01:00|イタリア| |||<就任>ウルビーノ伯・モンテフェルトロ伯「ゲイタント・ニオ・ダ・モンテフェルトロ」(~1443. 2死去)

1403年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデュラツォ執達吏・長官「ラエリ・ヴェニ」(~1405年)

1403年-01:00|イタリア| |||<就任>カラブリア公(ポリ王の推定相続人の称号)「ルイー・アッジュール公」13世(~1417年)

1403年-01:00|ドイツ| |||<就任>ラウエンシュテルン伯「ゲイルヘルム2世」(~14281122死去)

1403年-01:00|ドイツ| |||<譲位>ラウエンシュテルン伯「アドルフ」

1403年-01:00|スペイン/イタリア| |||<統合>マヨルカ王・サルダニャ伯⇒アラゴン王

1403年-01:00|オランダ/ドイツ| |||ブレダ男爵領はナッソー・ディンブルクへ

1403年1月23日-09:00|日本| |||応永10年|<任命>土佐国守護「細川満元」(~応永33(1426)年10月16日死去)

1403年1月23日-09:00|日本|東京都江東区|応永10年|<復興>天祖神社(亀戸)

1403年1月23日-07:00|ベトナム| |||大虞・紹成2年|大虞・開大と改元(~1407)

1403年1月23日-09:00|日本| |||応永10年1月|今川了俊「二言抄」著す(冷泉為尹に送ったもので、歌詞とただ言との区別を論じたもの、頼阿を批判しながら、文学様式の定式化を退け作歌自由主義を主張)

1403年1月23日-08:00|中国| |||明・永楽1年1月|永楽帝が北平を北京と改称し、北の首都とし翰林院を設置

1403年1月23日-08:00|中国| |||明・永楽1年1月1日|明・永楽と改元

1410迄 (1306件)

1403年2月-03:30|イラン/アフガニスタン| |||<死去>ミフラービド朝マリーク「Taj al-Din Shah-i Shahan Abu'l Fath」
 1403年2月-03:30|イラン/アフガニスタン| |||<即位>ミフラービド朝マリーク「Qutb al-Din Muhammad ibn Shams al-Din Shah 'Ali」(~14190211死去)
 1403年2月4日-01:00|クアチア| |||<即位>クアチア対立王「ラースロ6世」カルス2世の息子(戴冠式8月5日~10月)
 1403年2月10日-08:00|中国/モンゴル| ||明・永楽1年1月19日|ティムール帝国を形成したティムールが中国へ進撃する直前に没する。68歳(誕生:13360408)。チンギス汗の子孫の婿となってチンギス汗の子孫を名乗り、かつてのモンゴル帝国のうち西方の3汗国の領土を手中におさめた
 1403年2月28日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「リカン司教ヘンリー・ホーフォート」(1期目~14050302)
 1403年3月5日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・永楽1年2月13日|李氏朝鮮が書籍省を設置し金属活字を鋳造(世界最古)
 1403年3月12日-09:00|日本/中国| ||応永10年2月19日|明の使僧道彝・一如帰国/義満僧主密等を之と共に使わす
 1403年4月-01:00|モンテネグロ/セルビア| |||<死去>セータ・リタル卿「ジュラジ2世ストラチミロヴィッチ」
 1403年4月-01:00|モンテネグロ/セルビア| |||<就任>セータ・リタル卿「バルシヤ・ジュラジヨヴィッチ」(~14210428死去)、摂政「エレナ・ラザレヴィッチ」(~1405年)
 1403年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ヴァンタ・ディ・コルロ」「シモネ・ディ・ベルツォ」
 1403年4月22日-09:00|日本| ||応永10年4月|<交替>安芸国守護「渋川満頼」⇒「山名満氏」(~応永13(1406)年6月解任)
 1403年4月24日-09:00|日本|愛知県岡崎市|応永10年4月3日|僧道久、三河国富永社の社殿を建立
 1403年4月25日-09:00|日本|愛知県豊川市|応永10年4月4日|祢宜坂上行長ら、三河国天王社の社殿を建立
 1403年5月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ミクロシュ・マルカリ」(~10月)
 1403年5月21日-09:00|日本|静岡県湖西市|応永10年5月|元応、応賀寺(新居町)に仏像を寄進
 1403年6月10日-01:00|ポーランド| |||<死去>オレシニツァ公・ヒェトム公「コンラト2世Siwy」
 1403年6月10日-01:00|ポーランド| |||<就任>ヒェトム公「コンラト」3世Stary」(~14121228死去)
 1403年6月22日-09:00|日本|京都府京都市上京区|応永10年6月3日|相国寺大塔落雷のため焼失
 1403年7月10日 00:00|イギリス| |||イングランド北部のパーシー家の第1次反乱が起こり、ヘンリー4世がこれを鎮圧
 1403年7月19日-01:00|クアチア/イタリア| |||シチリア王国(パトリ)がガザラを統治(~14090709)
 1403年7月22日 00:00|イギリス| |||<死去>スタッフォード伯「Edmund Stafford」
 1403年7月24日-09:00|日本| ||応永10年7月5日|<死去>尊道入道親王(72歳)後伏見天皇の皇子
 1403年8月3日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「趙浚」(~14050713)
 1403年8月5日-01:00|ハンガリー| |||<即位>ハンガリー対立王「ラースロ5世」(~10月)
 1403年8月18日-09:00|日本|愛知県知多郡南知多町|応永10年8月|檀那源則興(関口満興)、音羽町八王子神社を遷宮
 1403年8月18日-09:00|日本|静岡県焼津市|応永10年8月|茂山祖宗、小杉御厨青竜山孤雲院(大井川町上小杉)開山
 1403年9月25日-01:00|フランス| |||<即位>アンジュー公「ルイ3世」ルイ2世とヨランド・ダラゴン(の長男(~14341112死去31歳)
 1403年9月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>ルシュタイン＝ゼーゲル伯「アルブラヒト1世」
 1403年10月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ヤノス・タマシ」(~1409年12月)
 1403年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マルティノ・ディ・ゲロ・デ・ビストルジ」「アントニオ・ナルディ・イーニ」
 1403年10月16日-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Francesco Gatto」(1期目~1406年)
 1403年11月8日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副王代行「スクローフ卿ステファン・ル・スクローフ」(~14040202)
 1404年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラン国王「ツウモン2世」(~1406年)
 1404年-05:30|インド| |||<死去>ゲジャラト・スルターン朝スルターン「ムハマト・シャー1世(タール・ハン)」
 1404年-05:30|インド| |||<即位>ウジジヤナガル王国(サンガマ朝)国王「ヴァイル・パーグシャ1世」(~1405年)
 1404年-05:30|インド| |||<復位>ゲジャラト・スルターン朝スルターン「ムザッファール・シャー1世(ザッファール・ハン)」(2期目~1411死去)
 1404年-04:00|ロシア| |||<即位>ロストフ・ボリソグレフスキ公「アントレイ・アレクサンドロヴィチ」(~1416年)
 1404年-02:00|ギリシャ| |||<即位>アカイア公「チェントウリオネ2世アサン・ザッカリア」(~1432年)
 1404年-02:00|トルコ| |||<即位>サルハン侯国「ヒズリヤ・ベイ」(~1410年)
 1404年-02:00|ルーマニア| |||ドブルジャはワラキアの一部(~1419年10月)
 1404年-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ホーンメルン＝シュテッティン公「ホーギスラフ7世年長公」
 1404年-01:00|クアチア| |||<就任>クアチアとタルマチア・パン「パヴァオ・ペツェニョ」(~同年)⇒「パヴァオ・ペッチ」(~1406年)
 1404年-01:00|クアチア| |||<就任>スラヴォニア全土のパン「パヴァオ・ペッチ」(~1406年)
 1404年-01:00|フランス| |||<就任>ヌール公「シャルル3世」ナバラ王カルロス3世(~14250908死去)
 1404年-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>シュレースヴィヒ公(シャウエンブルク家)「ヘンリク4世兼ルシュタイン伯ハインリヒ4世」(~1427年)
 1404年-01:00|ナイジェリア| |||西アフリカでヨルバ人のオヨ王国が成立
 1404年-01:00|スペイン/モンゴル| |||スペインのレオン王エンリケ3世がティムールへ使者を派遣
 1404年 00:00|イギリス| |||<就任>12代マー伯「アレクサンダー・ステュアート」(~1435.7死去)
 1404年2月11日-09:00|日本/中国| ||応永11年|日明(勘合)貿易がはじまる
 1404年2月11日-09:00|日本|京都府京都市北区|応永11年|印慶、大徳寺山門の釈迦三尊を造る
 1404年2月11日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|応永11年|足利義持、京都長徳院の観音像を描く
 1404年2月11日-09:00|日本|静岡県浜松市西区|応永11年|大信正及、臨済宗天竜山洞雲寺(神ヶ谷町)を開創
 1404年2月11日-09:00|日本|静岡県浜松市西区|応永11年|臨済宗方広寺派の洞雲寺(浜松市神ヶ谷町)創建
 1404年2月11日-09:00|日本| ||応永11年1月|<任命>山城国守護「高師英」(~応永21(1414)年)

1410迄 (1306件)

1404年2月27日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト=ヘルンブルク侯「Otto3世」
1404年2月27日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト=ヘルンブルク侯「Bernhard5世」(~14200624死去), 「Otto4世」(~14150501死去)
1404年3月3日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王代行「オモント 伯ジェームス・バトラ」(~14050907)
1404年3月16日-01:00|ドイツ| |||以降<死去>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ピンネベルク伯「オットー1世」
1404年3月16日-01:00|ドイツ| |||以降<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ピンネベルク伯「アドルフ10世(9世)」(~1426年)
1404年3月22日-01:00|イタリア| |||ベネチア, ジェノヴァと和平
1404年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「パオリノ・デ・ジョヴァンニ・ビアンコ」「ベッティーニ・トウラ」
1404年4月10日-09:00|日本| 静岡県浜松市天竜区| 応永11年3月| 八幡社(佐久間町浦川)の阿弥陀堂が造立される
1404年4月25日-01:00|イタリア| |||サン・マルコの祭日にヴェネチアンツァガベネチアに降伏
1404年4月27日-01:00|フランス/ベルギー/オランダ| |||<死去>ブルゴーニュ公・リンブルク公・フランドル伯・ブルゴーニュ伯「フィリップ2世 剛勇公」兼スウェーデン伯「フィリップ1世」(13420115生享年62)
1404年4月27日-01:00|フランス| |||<就任>スウェーデン伯「フィリップ2世」(~14151025死去)
1404年4月27日-01:00|フランス| |||<即位>ブルゴーニュ公・ブルゴーニュ伯「ジャン1世(無怖公、無畏公)」(~14190910死去)
1404年4月27日-01:00|オランダ/ベルギー| |||<即位>リンブルク公「アントワヌ」(~14151025)
1404年4月28日-01:00|イタリア| |||フェルトレとベッセルノガベネチアに降伏
1404年4月29日-01:00|イタリア| |||<死去>ウルビーノ伯・モンテフェルトロ伯「アントニオ2世・ダ・モンテフェルトロ」
1404年4月29日-01:00|イタリア| |||<就任>ウルビーノ伯「グイダント・ニコ・ダ・モンテフェルトロ」(~1443. 2)
1404年5月-01:00|ボスニア=ヘルツェゴビナ| |||<即位>ボスニア王「ステパン・トヴルコ2世」(1回目~1409年5月)
1404年6月8日-09:00|日本/中国| || 応永11年5月| 明使、「日本国王之印」と刻した金印と、勘合をもって来航/義満、北山殿で引見
1404年7月27日-09:00|日本| || 応永11年6月20日| <死去>筑前・豊前国守護「少貳貞頼」
1404年7月27日-09:00|日本| || 応永11年6月20日| <任命>筑前国守護「少貳満貞」(~永享3(1428)年)
1404年7月27日-09:00|日本| || 応永11年6月20日| <任命>豊前国守護「少貳満貞」(~応永12(1405)年)
1404年8月5日-01:00|デนมาร์ク/ドイツ| |||<死去>シュレースヴィヒ公「ゲアハ6世」兼ホルシュタイン=レンズブルク伯「ゲルハルト6世」
1404年8月5日-01:00|デนมาร์ク/ドイツ| |||<就任>シュレースヴィヒ公「ハンリク3世」(~14270528死去)
1404年8月5日-01:00|ドイツ| |||<就任>ホルシュタイン=レンズブルク伯「ハインリッヒ3世」(~1421. 2死去), 「アドルフ10世」(~14261009死去)
1404年8月5日-09:00|日本| || 応永11年6月29日| <任命>日向・大隅両国守護「島津元久」(~1411年、以降、久豊、忠国、立久、忠昌、忠治、忠隆、勝久、貴久と続く~1566年)
1404年9月6日-01:00|イタリア| |||ベネチア, ニコロ・デ・ステ、パドヴァ防衛のためヴェネチアに宣戦
1404年9月14日-01:00|オーストリア| |||<死去>オーストリア公「アルブレヒト4世」26歳
1404年9月14日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア・シュタイア=マルク公国摂政「グィルヘルム・デ・ア・フロントリッヒ」(~14060715)
1404年9月14日-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア公「アルブレヒト5世」(~14391027死去42歳)ローマ王としてはアルブレヒト2世
1404年10月1日-01:00|バチカン| |||<死去>第203代ローマ教皇「ボニファティウス9世」[1355年生~](享年49)
1404年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・テニャ」「アントニオ・デ・イ・マリノ・デ・イ・フォスコ」
1404年10月17日-01:00|バチカン| |||<就任>第204代ローマ教皇「インケンティウス7世」(~14061106死去)
1404年11月3日-09:00|日本| || 応永11年10月| <任命>肥後国守護「阿蘇惟村」(~応永13(1406)年)
1404年11月8日-09:00|日本| || 応永11年10月6日| <死去>伊勢北半国・志摩国守護「土岐康行」世保康政が継ぐ(~応永25(1418)年死去)
1404年12月 00:00|イギリス| |||<就任>ロシエ公(スコットランド 王位の法定推定相続人)・10代キャリック伯「ジェームス・スチュワート」(~14060404ジェームス1世として即位~14370221死去)
1404年12月13日-01:00|オーストリア/ドイツ/オランダ| |||<死去>下バリエル=シュトラウビング公「アルブレヒト1世」兼エノー伯「アルベール1世」
1404年12月13日-01:00|オーストリア/ドイツ/オランダ| |||<即位>下バリエル=シュトラウビング公「グィルヘルム2世」兼エノー伯「ギヨーム4世」アルブレヒト1世の長男(~14170531死去)
1405年-05:30|インド| |||<即位>グィンジャガール王国(サガマ朝) 国王「フッカ2世」(~1406年)
1405年-03:00|イラク/トルコ/イラン/アゼルバイジャン| |||<再位>黒羊朝第3代国王「カラ・ユスフ」(~14201117死去)
1405年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネチアのカンテリア公「ジョヴァンニ・ベンボ」(~同年)
1405年-02:00|トルコ| |||<即位>アイヴァン侯国ベイ「Izmiroglu Cunejd・ベイ」(~1426年)
1405年-02:00|エジプト| |||<即位>ブルギー=マムルーク朝第3代スルタン「マンスール・アブド・アルアズィーズ」(~同年死去)→<復位>第4代スルタン「ナシル・ファラジュ」(~14110523暗殺される)
1405年-01:00|ニジェール| |||<建国>アル国(アガデスを中心に)
1405年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネチアのデュラツツォ執達吏・長官「アントニオ・ボッラーニ」(~1407年)
1405年-01:00|ポーランド| |||<就任>ピトム公「Boleslaw2世」(~14310506死去)
1405年-01:00|イタリア| |||<就任>フェーラ=モテナ侯「ニコロ3世」⇒フェーラ=モテナ=レヅィヨ侯(~14411206死去)
1405年-01:00|イタリア| |||<即位>アマルフィ公「ジョルダノ・コナ」(~1438年)
1405年 00:00|イギリス| |||<私権剥奪>ノーサンハンプトン伯「ヘンリー・パーシー」
1405年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Michael Blundell」(~1417年)
1405年1月16日-01:00|イタリア| |||ベネチア, ニコロ・デ・ステに対抗してアツォーネ・デ・ステと同盟
1405年1月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト=デッサウ侯「Sigismund1世」

1410迄 (1306件)

1405年1月19日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・デッサウ侯「George1世」(~14740921死去)、「Waldemar4世」(~14170722死去)、「Sigismund2世」(~14520522死去)、「Albert5世」(~1469年死去)共同統治
1405年1月22日-02:00|エジプト| |||<即位>カイロ・アッバース朝第11代カリフ「ムスタイン」(~14140309)
1405年1月31日-09:00|日本| |||<永享12年>|<交替>豊前国守護「少式満貞」⇒「大内盛見」(~永享3年6月28日(14310806)死去)
1405年1月31日-09:00|日本|沖縄県|明・永楽3年|<失国>琉球中山国王「武寧」
1405年1月31日-09:00|日本|群馬県沼田市|<永享12年>|沼田氏8代景朝、町田に小沢城を築き、莊田城より移る
1405年2月18日-05:00|ウズベキスタン| |||<死去>ティムール朝スルタン「ティムール」オラルで病没/ハリール・スルタンがサルカントでティムールの後継者を名乗り内紛が勃発
1405年3月2日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「ヨーク首席司祭(⇒14060514ヨーク司教)トマス・ラングレイ」(1期目~14070130)
1405年3月6日-01:00|スペイン| |||<就任>アストurias公(スペイン国王の推定相続人)「ファン」マリアの弟、後のカスティリヤ王ファン2世(~14061225~14540720死去)
1405年3月16日-01:00|フランス/ベルギー| |||<死去>フランドル伯・ブルゴニュ伯「マルグリット3世」兼アルトリ伯「マルグリット2世」兼メグエル伯「マルグリット」
1405年3月16日-01:00|フランス/ベルギー| |||<就任>フランドル伯兼ブルゴニュ伯「ジャン1世」マルグリット2世とフィリップ2世の息子(~14190910死去)
1405年3月18日-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>ティムール朝スルタン「ハリール・スルタン」(~1409.3ホターイートの捕虜とされる)
1405年3月18日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|<永享12年2月18日>|三河国柴戸宮の社殿が建立される
1405年3月21日-01:00|フランス| |||<就任>アルトリ伯「ジャン1世無怖公」(~14190910死去)
1405年3月25日-01:00|イタリア| |||ベネチア、フェッラーラ公ニコロ・デステと和平
1405年3月27日-01:00|イタリア| |||フェッラーラ公ヴェネチア人にロヴィーゴを返却
1405年3月31日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||アントニオ・アッチャイオリをアテネ公と認め、彼を保護下に受け入れる
1405年3月31日-09:00|日本|佐賀県三養基郡みやき町|<永享12年3月>|赤星遠江守洪川満頼を肥前国綾部城に攻めて陥れる/満頼、筑前国に敗走
1405年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・デ・イグナチオ」(在職中死去、「ミケレ・デ・イ・ジョヴァンニ」に交代)「ベッティーノ・デ・イ・パオロ」
1405年4月25日-02:00|キプロス| |||<就任>聖ヨハネ騎士団対立マスター「ニコラ・オルシーニ・デ・イ・カンポ・デ・イ・フィオーレ」(~1409年)
1405年4月30日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|<永享12年4月2日>|<建立>景重、栃木一向寺の阿弥陀像
1405年5月 00:00|イギリス| |||パーシー家の第2次反乱が起こる
1405年5月11日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガーンジー-島守護者「Jean de Lisle卿」(~同年)
1405年5月11日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島守護者「Jean Peraunt」+「Thomas Pykworth」(~同年)
1405年6月8日 00:00|イギリス| |||<死去>ノーフォーク伯・ノッティンガム伯「トマス・ド・モウブレイ」
1405年6月8日 00:00|イギリス| |||<就任>ノーフォーク伯「ジョン・ド・モウブレイ」(⇒1425年ノーフォーク公~14321019死去)
1405年6月8日-09:00|日本|東京都八王子市|<永享12年5月12日>|大石大炊助武蔵国馬室郷に妙薬寺を建立
1405年6月20日 00:00|イギリス| |||<死去>バカン伯「アレクサンダー・ステュアート」
1405年6月22日-01:00|イタリア| |||ベネチアにヴェローナ屈服
1405年7月28日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「成石珣」(~14070806)
1405年8月-01:00|フランス| |||「ブルゴニュ公」ジャン無畏公、「フランドル伯」として「臣下の礼」を捧げるという口実で、数千の軍勢でパリに進軍
1405年8月5日-08:00|中国| |||明・永楽3年7月11日|鄭和第1次遠征出帆/占城(チャンパ)-爪哇(ジャバ)-旧港(パレンバン)-満刺加(マラッカ)-阿魯(アル)-蘇門答刺(スマタラ)-錫蘭山(セイロン)-小葛蘭国(キロン)-古里(カリカット)
1405年8月19日-01:00|ポーランド| |||<死去>オシフィエンチム公「ヤン3世」
1405年8月19日-01:00|ポーランド| |||<就任>オシフィエンチム公「ブシェミスワフ」(~14060101死去)
1405年8月19日-09:00|日本| |||<永享12年7月25日>|<任命>室町幕府管領「斯波義重」(~永享16(1409)年2月9日)
1405年9月4日-01:00|イタリア| |||ベネチアのカロ・ゼン、カッラーラ家と新しい条約を結ぶ
1405年9月7日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副王代行「キルデア伯ジェラルド・フィッツジェラルド」(~14130925)
1405年9月14日-01:00|ドイツ| |||マインツ大司教、選帝侯が、皇帝ルプレヒトに対抗して同盟を結ぶ
1405年9月20日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<即位>ブルギー(チェルケス)・マムルーク朝スルタン「マンスール・アフド・アルアズィーズ」(~1405.11)
1405年9月22日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ポズナニ公「ハルニム6世」
1405年9月24日-01:00|チェコ| |||<死去>モラヴィア辺境伯「プロコプ」
1405年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・デ・イ・ギノ」「フォスキノ・デ・イ・ベネッット・マトローニ」
1405年10月4日 00:00|マン島| |||<就任>マン王「ジョン1世・デ・スタンリー卿」(~14140106死去)
1405年10月5日-09:00|日本| |||<永享12年9月12日>|<死去>関東管領「上杉朝宗(犬懸)」
1405年10月17日-01:00|フランス| |||「ブルゴニュ公」ジャン無畏公(故フィリップ2世豪胆公の長男)とルイ・ド・ヴァロワ・オルアン公(故フランス王シャルル5世の子、フランス王シャルル6世の弟)、王妃イザボート・バヴァリエールと「ベリー公」ジャン(故フランス王ジャン2世善良王の子)の仲介で一旦和解
1405年10月23日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・永楽3年10月|李氏朝鮮が漢城に再遷都
1405年10月30日-09:00|日本| |||<永享12年10月8日>|<任命>関東管領「上杉憲定(山内)」(~永享18(1411)年1月16日死去)

1410迄 (1306件)

1405年11月-02:00|エジプト/シリア/アラブ | |||<復位>ブルジー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「ナースィル・ファラジ」(2期目~14120523死去)

1405年11月17日-08:00|フィリピン | |||<設立>スール王国(ハシラン、パラワン、タウイタウイの島々とカパ[北ボルネオ]の一部)

1405年11月17日-08:00|フィリピン | |||<即位>スール王国スルタン「Sultan Sharif ul-Hashim」

1405年11月22日-01:00|イタリア | |||パドヴァに対するヴェネツィアの最後の攻撃の結果占領

1405年11月23日 00:30|イラン | |||イラン・ネイシャブルで地震(M7.2)死者3万人

1405年12月 00:00|カリヤ諸島/スペイン | |||<就任>カリヤ諸島副王「Maciot de Bethencourt」(~1418年)

1405年12月10日-09:00|日本 | |||応永12年11月19日|<交替>遠江国守護「今川泰範」⇒「斯波義教(義重)」(~応永14(1407)年)

1405年12月15日 00:00|カリヤ諸島/スペイン | |||カリヤ諸島をカスティリヤの保護領宣言

1405年12月22日-09:00|日本 | |||応永12年12月|今川了俊「西行上人談抄」著す/今川了俊、招月庵正徹に、「西行上人談抄」等6部の歌書(「詠歌大概」「和歌十鉢」「秘々抄」「草子書様」「文字仕」)を与える

1405年12月22日-09:00|日本|長野県長野市|応永12年12月|埴科郡松代町明真寺の釈迦如来像、成る

1406年-08:00|インドネシア | |||<即位>サムラ・パサイ王国第6代スルタン「ラトゥ・ナジヤー・グロリー」(~1428年)

1406年-07:00|タイ | |||<即位>カオ王国国王「フーケン」(~1416年)

1406年-05:30|インド | |||<即位>ウイジャヤナガル王国(サンガマ朝)国王「デーウ・ア・ラーヤ1世」(~1422年)

1406年-05:30|インド | |||<即位>マルワー・スルタン朝(ゴール朝)スルタン「フシャング・シャー」(~1435年)

1406年-05:00|ウズベキスタン | |||<即位>モグリスタン・ハン国ハン「ムハンマド」ヒズル・ホジヤの子(~1416年)

1406年-04:00|オマーン | |||<即位>ナバニ王朝イムム「ムハンマド・アル・ファラー」建国(~1435年)

1406年-02:00|トルコ | |||<即位>アルタウ朝スルタン「アフマド・アッサーリフ・シハブ」(~1409年国家滅亡)

1406年-02:00|エジプト | |||<即位>カイロ・アッバース朝カリフ「ムスタイン」(~14140309)

1406年-01:00|クロアチア | |||<就任>クロアチアとダルマチア・パン「ヘルマン・チェリスキ」(~1408年)

1406年-01:00|マルタ/イタリア | |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Francesco Giovanni di Santa Colomba」(~1413年)

1406年-01:00|クロアチア | |||<就任>スラヴォニア全土のパン「ヘルマン2世チェリスキ」(1度目~1407年)

1406年-01:00|ドイツ | |||<就任>テューリンゲン方伯「フリートリヒ4世」(~1440年)

1406年-01:00|フランス | |||<即位>ヴァロア公「シャルル・ド・ヴァロワ」(~14650105死去)

1406年-01:00|デンマーク/オランダ | |||<即位>ブラント公「アントワヌ」(~14151025)

1406年1月1日-01:00|ポーランド | |||<死去>オンフィエンチム公「フシェミスワフ」

1406年1月1日-01:00|ポーランド | |||<就任>オンフィエンチム公「ガジミェシュ1世」(~14340407死去)

1406年1月5日-09:00|日本 | |||応永12年12月15日|<死去>備中国守護「細川満之」頼重が継ぐ(~永享2(1430)年)

1406年1月7日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永12年12月17日|<焼失>鎌倉永福寺/永福寺は、頼朝が奥州合戦で戦死した藤原氏、そして源義経らの菩提を弔うため1192年に建立

1406年1月20日-09:00|日本|沖縄県|応永13年|<即位>琉球中山国王「尚思紹」尚巴志が中山王国を乗っ取り父を王位につける(~1421年死去)

1406年1月20日-09:00|日本|静岡県湖西市|応永13年|延兼山妙立寺(吉見)開山/日什尊像・四天王像が佐原・内藤両家願主に造立

1406年1月20日-09:00|日本|広島県三原市|応永13年|尼松岩、仏通寺含暉院を興造

1406年1月20日-08:00|中国/インドネシア | |||明・永楽4年|鄭和艦隊の分遣隊が紛争に巻き込まれ、170人がマジャパヒト王国:「西王」軍に殺される/西王はあわてて明に謝罪使節を送る

1406年2月3日-09:00|日本|滋賀県高島市|応永13年1月15日|日吉二宮十禅師などの社焼失

1406年2月5日-09:00|日本 | |||応永13年1月17日|<死去>越中・能登・河内・紀伊国守護「畠山基国」55歳

1406年2月5日-09:00|日本 | |||応永13年1月17日|<任命>越中国守護「畠山満則」(~応永15(1408)年5月)

1406年2月5日-09:00|日本 | |||応永13年1月17日|<任命>河内国守護「畠山満慶」(~応永15(1408)年5月)

1406年2月5日-09:00|日本 | |||応永13年1月17日|<任命>紀伊国守護「畠山満慶」(~応永15(1408)年5月)

1406年2月5日-09:00|日本 | |||応永13年1月17日|<任命>能登国守護「畠山満則」(~永享4年6月27日(14320724)死去)

1406年4月-01:00|フランス | |||「ブルゴーニュ公」ジヤン無畏公、フランス北部のピカルディと西フランドル戦線における国王総代として出陣し、カレーを包囲

1406年4月1日-01:00|サンマリノ | |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジヨヴァンニ・デ・フランチェスコ・デ・ベニストルジ」「ジヨヴァンニ・デ・ニーノ・デ・ケラルディ」

1406年4月4日 00:00|イギリス | |||<死去>スコットランド王「ロバート3世」病を發し他界/69歳

1406年4月4日 00:00|イギリス | |||<即位>スコットランド王「ジェームズ1世」ロバート3世とアナベラ・ド・モントの息子(~14370221死去42歳)

1406年4月15日-09:00|韓国/朝鮮 | |||朝鮮・永楽4年3月27日|李氏朝鮮で仏教寺院を統廃合

1406年5月18日-09:00|日本 | |||応永13年5月|<交替>肥後国守護「阿蘇惟村」⇒「阿蘇惟郷」(~応永14(1407)年)

1406年5月22日-01:00|イタリア | |||ベネツィア、ビザンツ皇帝メヌエーレ・パレオカスと五ヶ年の和平

1406年6月16日-09:00|日本 | |||応永13年6月|<交替>安芸国守護「山名満氏」解任⇒「山名熙重」(~応永18(1411)年)

1406年6月22日-09:00|日本 | |||応永13年6月7日|<死去>若狭・三河・尾張国二郡守護「一色詮範」子の一色満範が嗣ぐ(~応永16年1月6日(14090122)死去)

1406年6月28日-01:00|イタリア | |||ベネツィアがジエノヴァと協定

1406年7月12日-09:00|韓国/朝鮮 | |||朝鮮・永楽4年6月27日|李氏朝鮮で郷校制度定まる

1410迄 (1306件)

1406年7月15日-01:00|オーストリア/スロベニア/イタリア| |||<死去>ケルテン公・カニオラ公・内オーストリア公・シュターアマルク公・チロル伯「ヴァイルヘルム洗練公」36歳
1406年7月15日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<就任>オーストリア・シュタイアマルク公国摂政「レオポルト4世肥満公」(~14110603、死去)
1406年7月15日-01:00|オーストリア/イタリア| |||<即位>上オーストリア公「フリードリヒ4世」兼チロル伯「フリードリヒ」レオポルト3世の息子(~14390624死去57歳)
1406年7月15日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<即位>ケルテン公・カニオラ公・内オーストリア公・シュターアマルク公「エルンスト鉄公」レオポルト3世の息子(~14240610死去47歳)
1406年7月20日-09:00|日本|愛知県岡崎市|応永13年閏6月5日|<死去>三河国天恩寺・甘泉寺などの開山弥天永釈
1406年9月20日 00:00|イギリス| |||<就任>パカン伯「ジョン・ステュアート」(~14240817ヴァルヌユの戦いで戦死)
1406年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・ルナルディニ」「ジョヴァンニ・デ・パシーノ」
1406年10月6日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|応永13年8月24日|大風により、大屋修理亮政矩の堂崎居館(三ヶ日町宇志)殿舎流失
1406年10月9日-01:00|イタリア| |||フィレンツェが、ピサを併合
1406年10月12日-08:00|中国/ベトナム| ||明・永楽4年;大虞・開大4年9月|明・永楽帝が大虞に兵を送る(ホ・ウイ・リを廃し、チャン氏の復活を要求)/林軍は敗退し明軍は首都に入る
1406年10月23日-09:00|日本|京都府京都市東山区|応永13年9月12日|清水寺炎上
1406年11月1日-01:00|オランダ/ベルギー| |||<死去>ケルテン公・内オーストリア公「ヴァイルヘルム洗練公」36歳
1406年11月1日-01:00|オランダ/ベルギー| |||<即位>ブラバント公・リンブルフ公「アントワヌ」(~14151025死去)
1406年11月6日-01:00|パチカン| |||<死去>第204代ローマ教皇「インノケンティウス7世」
1406年11月20日-01:00|イタリア| |||ラヴェンナ君主ピッツォ・ダ・ボレンタ、ヴェネツィアの保護下に受け入れられる
1406年11月29日-06:30|ミャンマー| |||<即位>北アラカン国王「アノラタ」(~1408年3月)
1406年11月30日-01:00|パチカン| |||<就任>第205代ローマ教皇「グレゴリウス12世」(~14150704退任)
1406年12月8日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「イマムザード・ハルル・パシャ」(~1413年)
1406年12月20日-01:00|スペイン| |||<死去>アンブリアス伯「Maria de Luna」
1406年12月20日-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯「Martin」(~14100531死去)
1406年12月25日-01:00|スペイン| |||<死去>レオン国王・カスティーリャ国王「エンリケ3世」兼トラスタマラ公(誕生1379年)
1406年12月25日-01:00|スペイン| |||<即位>レオン国王・カスティーリャ国王「ファン2世」(~14540720死去)
1407年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| |||<死去>ジョチ・ウルス・ハン「Shadi Beg」
1407年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| |||<即位>ジョチ・ウルス・ハン「Pulad Khan」(~1410年死去)
1407年-04:00|ロシア| |||<即位>金帳ハン国ハン「ボラト」テムル・クルクの子(~1410年)
1407年-04:00|ジョージア| |||<即位>グルジア国王「コンスタンティヌス1世」(~1411年)
1407年-04:00|ロシア| |||<即位>シベリヤハン国ハン「Chekre Khan」(~1413年)
1407年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキー・ナメストク「コンスタンチン・ミトリエヴィチ」(~1408年)
1407年-02:00|キリシヤ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ロドヴィコ・モロシーニ」(~1409年)
1407年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リグアニアのレヴァル司令官「フリードリヒ・フォン・ヴェルダ」(~1411年)
1407年-02:00|キリシヤ| |||<即位>モリス専制公「セド・ロス2世バロコス」(1428年以降共同統治~1443年)
1407年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデュラツォ執達吏・長官「ピエトロ・アリメント」(~1408年)
1407年-01:00|フランス| |||<就任>ルテル伯「フィリップ2世」(~14151025死去)ヌヴェール伯
1407年-01:00|ドイツ| |||ジプシーがドイツのヒルスマイルに姿をあらわす
1407年 00:00|イギリス| |||<死去>初代クロフォード伯「デヴィッド・リンジー」
1407年 00:00|イギリス| |||<就任>2代クロフォード伯「アレクサンダー・リンジー」(~1438年死去)
1407年1月13日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)「スタニスラフ・チュブリス」(~14110420没)
1407年1月22日-08:00|中国/ベトナム| ||明・永楽4年;大虞・開大4年12月14日|明軍は多邦で胡朝軍を破ったあと、東都(昇龍)を占拠/胡朝軍は西都(タインホア省ウインク)へ退却
1407年1月30日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「カトヘリー大主教トマス・ランゲル」(4期目~14091221)
1407年2月-01:00|フランス| |||「ブルゴニユ公」ジャン無畏公、カレーから撤退
1407年2月8日-09:00|日本| ||応永14年|<交替>遠江国守護「斯波義教(義重)」⇒「今川泰範」(~応永16年9月26日(14091103)死去)
1407年2月8日-09:00|日本| ||応永14年|<再任>淡路国守護「細川満俊」(~文安3(1446)年)
1407年2月8日-09:00|日本| ||応永14年|<任命>相模国守護「三浦高明」(~応永23(1416)年解任)
1407年2月8日-09:00|日本| ||応永14年|<任命>肥後国守護「菊池兼朝」(~永享3(1431)年6月)
1407年2月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>マイン辺境伯「ヴァイルヘルム1世」
1407年2月9日-01:00|ドイツ| |||<就任>マイン辺境伯「フリードリヒ4世」フリードリヒ3世の長男(後にザクセン選帝侯~14280104死去),「ヴァイルヘルム2世」フリードリヒ3世の次男、フリードリヒ4世の弟、ゲオルクの兄(~14250330死去)
1407年2月12日-09:00|日本| ||応永14年1月5日|申刻京師他諸国で大地震。数日続く/山崩れ、宮殿、寺社、民屋倒壊多し/久御山・称名寺御堂・仏像が破壊
1407年3月7日-01:00|イタリア| |||<死去>マントヴァのルネ・ターノ・デル・ポネロ「フランチェスコ1世・ゴンザーガ」
1407年3月7日-01:00|イタリア| |||<就任>マントヴァのルネ・ターノ・デル・ポネロ「ジャンフランチェスコ・ゴンザーガ」(~14330922,君主制国家に転換しマントヴァ侯爵となる~14440925)
1407年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「コッツィオ・デ・ムッチョリーノ」「ジョヴァンニ・デ・チェッコ・デ・アレッサン

1410迄 (1306件)

トロ

1407年4月1日-09:00|日本|京都府京都市右京区|応永14年2月23日|聖護院坊・梶尾坊焼失
1407年6月2日-01:00|オーストリア/イタリア| |||ベネチア、オーストリア公と五ヶ年の同盟
1407年6月9日-09:00|日本| |||応永14年5月4日|<死去>薩摩国守護「島津伊久」元久が継ぐ(〜応永18(1411)年8月6日死去)
1407年6月17日-07:00|ベトナム/中国| |||明・永楽5年:大越・興慶1年5月12日|明、胡親子を捕殺し、大虞滅亡/後陳朝・1代・簡定帝(陳朝芸宗の次子)即位(〜1409)興慶と改元(〜1409)
1407年7月1日-01:00|イタリア| |||ベネチア、ブルシア君主パントルフォ・マテスタと五ヶ年の同盟、さらにニコロ・デ・ステとフランチェスコ・コンザ・アガにも広げる
1407年7月6日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李和」(〜14080130)
1407年7月9日-01:00|ハンガリー/イタリア| |||ハンガリーのラディスラオ・ザ・ラ・パ・ゴ、ノヴェグラディ及びダルマチア全土の主権をベネチアに譲渡
1407年8月29日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・永楽5年7月27日|李氏朝鮮が日本商人との交易を定める
1407年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「パオリノ・デ・イ・ジョヴァンニ・デ・イ・ビアンコ」「ミケリーノ・デ・イ・パオルッチョ」
1407年10月1日-08:00|中国| |||明・永楽5年9月|鄭和第1次遠征隊帰還
1407年10月16日-01:00|フランス| |||フランス王シャルル6世の弟ルイ・ド・ウァロワ・オルアン公と、故フィリップ2世豪胆公の長男「ブルゴニユ公」ジャン無畏公の対立が、一旦和解
1407年10月22日-09:00|日本| |||応永14年9月21日|<死去>常陸国守護「(常陸佐竹氏第11代当主)佐竹義盛」鎌倉名越邸にて、43才
1407年10月25日-09:00|日本|京都府京都市|応永14年9月24日|幕府京に地口銭(土地の間口の大きさに応じて賦課された臨時課税)を課す
1407年10月31日-08:00|中国| |||明・永楽5年冬|鄭和第2次遠征、古里(カリカット)を目的地として出立/暹羅(シャム)に訪問
1407年10月31日-09:00|日本|茨城県常陸大宮市|応永14年10月|<山入一揆(常陸国)>佐竹氏惣領の佐竹義盛が嗣子なく没したのち関東管領・上杉憲定の二男である龍保丸(のちの佐竹義憲)を養子に迎えて佐竹惣領の家督を相続させることが決まると山入城の山入与義、長倉城の長倉義景らがこれに反発、長倉城に立て籠もり抗戦
1407年11月1日-07:00|ベトナム| |||大越・興慶1年10月2日|<即位>後陳朝(大越)初代皇帝「簡定帝」(〜14090402)
1407年11月23日-01:00|フランス/ルクセンブルグ| |||<死去>オルアン公・トゥーレーヌ公・ルクセンブルク公「ルイ・ドルアン」、パリの「旧タンブル通り」(3、4区)で「ブルゴニユ派」(シャルル6世の叔父「ブルゴニユ公」フィリップや、その子ジャン無畏公が中心)に暗殺される/「アルマニック派」と「ブルゴニユ派」との内戦が始まる
1407年11月23日-01:00|フランス| |||<即位>オルアン公「シャルル1世」(〜14650105死去70歳)
1407年11月23日-01:00|ルクセンブルグ| |||<復位>ルクセンブルク公「ヨースト」フランドン公・選帝侯・モラヴィア辺境伯(2回目⇒14101001、兼神聖ローマ帝国皇帝・イタリア王)
1407年11月30日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永14年11月|鎌倉円覚寺焼失
1407年11月30日-08:00|中国| |||明・永楽5年11月|明で永楽大典が完成
1407年12月30日-09:00|日本| |||応永14年12月|<任命>和泉国守護「奥御賀丸」(〜応永15(1408)年8月)
1408年-08:00|ブルネイ| |||<死去>ブルネイ・スルタン「アフドゥル・マジッド・ハッサン」
1408年-08:00|モンゴル| |||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「オルク・テムル・ハーン」殺害される
1408年-08:00|モンゴル| |||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「オルク・テムル・ハーン」(〜1412年没)
1408年-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ・スルタン「アフマド」(〜1425年死去)
1408年-05:30|インド| |||インドのジャウンプルに、アターラ・マシッドが完成
1408年-04:00|ロシア| |||<就任>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「ヴァシリ・トミリグイチ」(〜1425年)
1408年-04:00|ロシア| |||<即位>リザン大公「イヴァン・ウラジミロヴィチ」(〜1409年以降)
1408年-04:00|ロシア| |||<復位>モスコフスキー・ナメストク「ダニール・アレクサントロヴィチ」(〜1409年)
1408年-03:30|イラン| |||<即位>パダスパニド朝君主「Kayumarth1世」(〜1453年)
1408年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネチアのデューツォ執達吏・長官「アントニオ・フェロ」(〜1410年)
1408年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとダルマチア・ハン「カルロ・クルヤコビッチ」(〜1409年)
1408年-01:00|ベルギー| |||<即位>ベルギー公「アドルフ7世」(〜1437年)
1408年1月12日-09:00|日本| |||応永14年12月14日|「応永地震」M7-8。紀伊・伊勢/京都で地震、久御山町の宝蓮寺の諸堂破壊
1408年1月28日-08:00|中国| |||明・永楽6年|<死去>モグーリスタン・ハン国ハン「シャムイ・ジャハーン」
1408年1月28日-08:00|中国| |||明・永楽6年|<即位>モグーリスタン・ハン国ハン「ムハンマド」(〜1415年死去)
1408年1月29日-09:00|日本|愛知県蒲郡市|応永15年|三河国安楽寺建立
1408年1月29日-09:00|日本|京都府京都市東山区|応永15年|吉山明兆、大涅槃図(東福寺)を描く
1408年2月9日-09:00|日本|福井県福井市|応永15年1月12日|<死去>普濟善救(足羽郡禅林寺開山)
1408年2月15日-09:00|日本|栃木県那須郡那須町|応永15年1月18日|<那須岳応永の噴火>那須連山の主峰・茶臼岳が大規模な水蒸気爆発を起こし、黄色化した火山灰を大量に含んだ火砕物が、同岳北側の峰の茶屋から明礬沢上流部にかけて降下、それが余笹川から那珂川に流れ込み数年の間沈澱した/次いで小規模な水蒸気爆発をくり返ししながら山頂に向かって堆積物を増す
1408年2月27日-09:00|日本|長野県上高井郡小布施町|応永15年2月|上高井郡小布施町浄光寺の薬師堂、成る
1408年2月28日-09:00|日本| |||応永15年2月2日|<死去>加賀国守護「斯波義種」57才、満種が嗣ぐ(〜応永21(1414))

1410迄 (1306件)

年6月)

- 1408年3月-06:30|ミャンマー| |||<即位>北アラカン国王「シ・カイ(またはシ・ソー・モン)」(~1411年初頭)
- 1408年3月8日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「河崙」(~14090918)
- 1408年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「アントニオのバルトリノ」「ペラルト」のミケリノ
- 1408年4月25日-01:00|イタリア| |||ホリ王ラティヌスが、ローマを占領
- 1408年5月12日-09:00|日本|茨城県常陸大宮市|応永15年4月17日|<山入一揆(常陸国)>関東公方・足利満兼の命により岩松持国が長倉城を攻め、長倉城開城降伏し山入与義は本拠の山入城に蟄居
- 1408年5月13日-01:00|スペイン| |||<死去>グナダ王国ナスル朝アミール「ムハンマド7世」
- 1408年5月13日-01:00|スペイン| |||<即位>グナダ王国ナスル朝アミール「ユースフ3世」(~14171109死去)
- 1408年5月15日-09:00|日本| ||応永15年4月20日|<就任>関白「近衛忠嗣」(~応永16年2月21日)
- 1408年5月26日-09:00|日本| ||応永15年5月|<交替>越中・河内・紀伊国守護「畠山満慶」⇒兄の「畠山満家」(~永享5年9月19日(14331031)死去)
- 1408年5月26日-09:00|日本| ||応永15年5月|今川了俊「師説自見集」著す(定家の和歌10体説を、例歌をあげて説明し、冷泉為世・為兼・為相の立場と様式のちがいを述べる)
- 1408年5月31日-09:00|日本| ||応永15年5月6日|<死去>大御所「足利義満」51歳(誕生1358年)前將軍
- 1408年6月-01:00|アンドラ| |||<死去>ウルジェイ伯「Peter2世」
- 1408年6月-01:00|アンドラ| |||<就任>ウルジェイ伯「James2世」(~14131031)
- 1408年6月18日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・永樂6年5月24日|<死去>李氏朝鮮初代「李成桂」72歳(誕生1335.10)/太祖
- 1408年6月24日-09:00|日本| ||応永15年6月|<任命>常陸国守護「佐竹義憲」(⇒応永23(1416)年、義人に改名⇒応永25(1418)年半国守護)
- 1408年6月25日-01:00|ドイツ| |||<死去>ペル公「ヴィルヘルム7世」
- 1408年6月25日-01:00|ドイツ| |||<即位>ペル公「アドルフ」(~14370714死去)
- 1408年7月24日-09:00|日本|和歌山県田辺市|応永15年7月2日|熊野社本宮炎上
- 1408年9月2日-09:00|日本|京都府京都市|応永15年8月12日|京都暴風雨、寺社多数倒壊
- 1408年9月15日 00:00|イギリス| |||<死去>第4代ケント伯「エドマント・ホランド」
- 1408年9月19日-09:00|日本| ||応永15年8月29日|<任命>和泉下半国守護「細川基之」(~文安5年10月12日(14481108)死去)
- 1408年9月19日-09:00|日本| ||応永15年8月29日|<任命>和泉上半国守護「細川頼長」岸和田城主となる(~応永18年5月25日(14110616)死去)
- 1408年9月23日-01:00|フランス| |||フランス、ジャン無怖侯がテーの戦いでリエージュ市民軍を破る
- 1408年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「シモネ・デ・メンギーノ・デ・カルチニ」「トセットのベネディクト」
- 1408年11月13日-01:00|デンマーク| |||コッットラントはデンマーク統治下(~16450823)
- 1408年11月20日-09:00|日本| ||応永15年11月3日|足利幕府が諸国に關所の制度を定める
- 1409年-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第7代国王「(インタラーチャ1世)ナリンタラティラート」(~1424年死去)
- 1409年-05:30|スリランカ| |||<即位>ガンボラ王国国王「Parakrama Bahu Epa」(~1412年)
- 1409年-05:00|モルデイグ| |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Nasiruddine Veeru Abaarana」(~1411年)
- 1409年-04:00|ロシア| |||<即位>ロストフ・ウスレンスキー公「イヴァン・アントレウイ」(~不詳)
- 1409年-04:00|ロシア| |||<復位>リャザン大公「フォートル2世オレゴヴィチ」(~1427年死去)
- 1409年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティア公「レオナルド・トロヴァサニ」(~1411年)
- 1409年-02:00|トルコ| |||マルディンのアルルク朝がカラ・ユル朝に滅ぼされる
- 1409年-01:00|クロアチア/イタリア| |||ヴェネツィアによるダルマチアのザラ支配(~1797年)
- 1409年 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー・島守護者「Richard of Conisburgh」(~1412年)
- 1409年1月12日-01:00|ポーランド| |||<死去>レクニツァ公「ルパート1世」
- 1409年1月12日-09:00|日本|愛知県豊田市|応永15年12月26日|三河寺部城主小笠原安芸守長正、三河守護一色氏に反し一族従士(小笠原直正)と共に討死
- 1409年1月16日-08:00|中国| ||明・永樂7年|明の成祖永樂帝が黒龍江省一帯を制圧し珦に奴兒干都司を設置
- 1409年1月16日-08:00|中国| ||明・永樂7年|チベットのガンデン大僧院が建立され、ツァンカハが黄帽派を創始
- 1409年1月16日-01:00|フランス| |||<即位>アンジュー公「ルネ1世」ルネ2世とヨランド・ダラゴンの次男(~14800710死去71歳)
- 1409年1月17日-09:00|日本|京都府京都市右京区|応永16年|京都玉鳳院四脚門できる
- 1409年1月17日-09:00|日本| ||応永16年1月|<交替>伊予国守護「河野通之」隠居⇒「河野通久」(~永享7年6月29日(14350724)戦死)
- 1409年1月22日-09:00|日本| ||応永16年1月6日|<死去>若狭・三河・丹後国・尾張国海東郡知多郡分郡守護「一色満範」子の義貫が継ぐ(~永享12年5月15日(14400614)死去)
- 1409年2月15日-09:00|日本|静岡県富士宮市|応永16年2月|妙蓮寺六世日清が本妙坊建立
- 1409年3月-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<廃位>ティムール朝スルタン「ハル・スルタン」ホーイダートの捕虜とされる(~14111104死去)
- 1409年3月9日-01:00|フランス| |||パリの南西約80の「シャルトル大聖堂」で、「アルマニャック派」と「ブルゴーニュ派」の和解が宣言される
- 1409年3月13日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア・シュタイアーマルク公摂政「エルスト2世」(~14111030)
- 1409年3月15日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|応永16年2月29日|藤原直秀、六所御宝殿(引佐町洪川)建立
- 1409年3月20日-09:00|日本| ||応永16年3月4日|<就任>関白「二条満基」(~応永17年12月27日)

1410迄 (1306件)

1409年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「フランスのヨハネ」「ジヤコミノ・ディ・パ・オ」
 1409年4月2日-07:00|ベトナム| ||大越・重光1年3月17日|<即位>後陳朝(大越)第2代皇帝「重光帝(陳季抃)」(~1413年明軍の捕虜になる)重光と改元(~1413年)/明軍は簡定帝を捕虜として南京へ護送し14140330殺す
 1409年4月4日-09:00|日本|京都府京都市|応永16年3月19日|京都の金蓮寺、清浄華院が炎上
 1409年4月15日-08:00|中国| ||明・永楽7年夏|鄭和第2次遠征帰還
 1409年5月-01:00|ホースニア・ヘルツェゴビナ| |||<即位>ホースニア王「ステパン・オストヤ」(2回目~1418年9月)
 1409年5月13日-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||<即位>ティムール朝アミール「シャー・ルフ」(~14470312死去)
 1409年6月13日-08:00|中国| ||明・永楽7年5月|明がオイラートの諸首領を王に封じる
 1409年6月30日-01:00|パチカン| |||<就任>ピサ対立教皇「アレクサンデル5世(ピエトロ・フィラルギ)」(~14100503)
 1409年7月9日-01:00|クロアチア/イタリア| |||ハンガリーの名目上の王、シリアのデイスラウス「サリ」が、ザラとダルマチアに対する「権利」をヴェネツィア共和国に売却(1420年までにヴェネツィアはダルマチア全土を支配)
 1409年7月19日-09:00|日本| ||応永16年6月7日|<交替>室町幕府管領「斯波義重」⇒「斯波義将」(3度目~同年8月10日)
 1409年7月25日-01:00|イタリア| |||<死去>シリア王「マルティノ1世」
 1409年7月25日-01:00|イタリア| |||<即位>シリア王「マルティノ2世」マルティノ1世の父(~14100531死去)
 1409年8月10日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永16年6月29日|鎌倉府第が焼失
 1409年8月11日-09:00|日本| ||応永16年7月|今川了俊、彦五郎あてに「了俊一子伝」著す(自分の幼少時からの体験をおりこみながら、和歌を学ぼうとゆる人への指導書的内容)
 1409年8月11日-09:00|日本|長野県上高井郡小布施町|応永16年7月|僧成園、亡母の三十三年忌に当り、上高井郡小布施町浄光寺に薬師如来像を寄進
 1409年9月1日-09:00|日本| ||応永16年7月22日|<交替>武蔵国守護「上杉朝宗」隠居⇒「上杉憲定」(~応永18(1411)年2月9日)
 1409年9月1日-09:00|日本| ||応永16年7月22日|<死去>鎌倉管領「足利満兼」32歳
 1409年9月1日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永16年7月22日|<死去>新田貞方(55歳)・貞邦(不明)親子は捕縛され、七里ヶ浜で斬罪
 1409年9月3日-01:00|フランス/イタリア| |||ジェノヴァが、フランスの駐屯兵を追放
 1409年9月10日-09:00|日本| ||応永16年8月|今川了俊、篠原宛「歌学書」著す
 1409年9月18日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李舒」(~11.17)
 1409年9月19日-09:00|日本| ||応永16年8月10日|<交替>室町幕府管領「斯波義将」⇒「斯波義淳」(~応永17(1410)年6月9日解任)/代行を義重(義淳の父)が行う体制にする
 1409年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ジヨヴァンニのリゴ・ネ」「テニヤのアントニオ」
 1409年10月9日-09:00|日本| ||応永16年9月|<任命>鎌倉公方「足利持氏」(~永享11(1439)年2月10日)
 1409年11月3日-09:00|日本| ||応永16年9月26日|<再任>遠江国守護「斯波義教(義重)」(~応永25年8月10日(14180910)死去)
 1409年11月3日-09:00|日本| ||応永16年9月26日|<死去>駿河・遠江国守護「今川泰範」76歳
 1409年11月14日-09:00|日本|長野県佐久市|応永16年10月7日|沙弥道円、筑摩郡熊野社社殿を造立
 1409年11月17日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「河崙」(~14120926)
 1409年11月27日-01:00|フランス| |||フランス王シャルル6世の王太子ルイ・ド・ギユエンヌが摂政となる/「ブルゴーニュ公」ジャン無畏公(故フィリップ2世豪胆公の長男)が後見役となる
 1409年12月-08:00|中国| ||明・永楽7年末|鄭和第3次遠征、古里(カリカット)を目的地として出立/鄭和の本隊はジャバ、分遣隊はシャムに向かい、鄭和はマラッカに「官廠」を建設して艦隊の集結地あるいは遠征の中継地とした
 1409年12月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ジェームズ・シャンタイ・ラック」(~1410年2月)
 1409年12月-02:00|リトアニア/ドイツ| |||サモグィタはドイツ騎士団によってリトアニアに暫定的に返還された(~1411年)
 1409年12月2日-01:00|ドイツ| |||フリードリヒ4世がプラハ大学を去ったドイツ人教員や学生を受け入れ「ライプツィヒ大学」開学
 1409年12月3日-09:00|日本|京都府京都市|応永16年10月26日|足利義持、三条坊門の新第に移る
 1410年-05:30|スリランカ| |||<死去>ジャファ王国国王「Jeyaveera Cinkaiariyan」
 1410年-05:30|インド| |||<死去>ベンガル・スルターン朝スルターン「キヤースティーン・アーザム・シャー」
 1410年-05:30|スリランカ| |||<即位>ジャファ王国国王「Gunaveera Cinkaiariyan」(~1440年)
 1410年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルターン朝スルターン「サイフディン・ハムザ・シャー」(~1412年死去)
 1410年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| |||<死去>ジョチ・ウルス・ハン「Pulad Khan」
 1410年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| |||<即位>ジョチ・ウルス・ハン「Temur Khan」(~1412年)
 1410年-04:00|ロシア| |||<即位>金帳ハン国ハン「テムル」ボラの弟(~1412年)
 1410年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキー・ナメストク「アレクサンドル・フォード・ロヴィチ」(~1412年)
 1410年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ジャライル朝第7代国王「シャー・ワラド」アフマドの甥(~1411年)
 1410年-03:00|イラク/イラン/アゼルバイジャン/トルコ| |||<復位>黒羊朝スルターン「カラ・ユースフ」(~14201117死去)
 1410年-02:00|トルコ| |||<即位>サルハン侯国ベイ「Orhan・ベイ」(~1412年)
 1410年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデュラツツォ執達吏・長官「ジョルジョ・ロレーノ」(~1412年)
 1410年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとダルマチア・パン「イワン・クヤコビッチ」「ハバオ・クヤコビッチ」(~1411年)共同統治
 1410年-01:00|ドイツ| |||<就任>バーデン＝ハッハベルク辺境伯「オットー2世」(~1415年)
 1410年-01:00|ドイツ| |||<就任>フェルデナツ伯「シュテファン」(~14590214死去)
 1410年-01:00|イタリア| |||イタリアの建築家ブルネスキがゼンマイ時計を発明

1410迄 (1306件)

1410年-01:00|ジブラルタル/モロッコ| ||ジブラルタルはマリン朝のモロッコが短期間再占領(~1411年)
1410年 00:00|マリ/ニジェール| ||<即位>ソンガイ王国国王「ムハンマド・コンキヤ」(~1418年)
1410年1月23日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永16年12月18日|鎌倉府第が完成し、足利持氏がここに移る
1410年1月31日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド連邦大法官「エセター・公トマス・ビューフォート」(~14120105)
1410年2月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| ||<就任>トランシルヴァニア総督「ステイボル・ステイボリツィ」(2回目~1414年2月)
1410年2月4日-09:00|日本|福井県三方上中郡若狭町|応永17年|大統一祐の弟子の伝芳良授、三方郡伝芳院を建立
1410年2月9日-09:00|日本| ||応永17年1月6日|<死去>羽州探題「最上直家」満直が継ぐ(~応永20年8月3日(14130825)死去)、
1410年2月24日-09:00|日本|栃木県那須郡那須町|応永17年1月21日|<那須岳応永の噴火>再び那須山が噴火、火砕物を大量に噴出(ブルカアン噴火)し余笹川など那珂川上流部を埋める/この火災堆積物は積雪を溶かしながら大規模な融雪型泥流となり、同岳南側の余笹川流域と、それより西の那須高原、湯川-大沢-那珂川流域などを10kmほど流下、突然、川沿いの集落をのみ込み、180余人の人命と多くの家畜を犠牲とした
1410年3月12日-09:00|韓国/朝鮮| ||李氏朝鮮で鑄字所が金属活字で印刷した書籍の販売を開始
1410年3月15日-08:00|中国/モンゴル| ||朝鮮・永樂8年2月10日|明の永樂帝が、タールを征伐するため自ら大軍を率いて出陣
1410年3月16日 00:00|イギリス| ||<死去>ドーセット侯・サマセット伯「ジョン・ホーフォート」
1410年3月16日 00:00|イギリス| ||<就任>サマセット伯「ヘンリー・ホーフォート」(~14181125死去)
1410年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「コルベロのヴァーティ」「パオロのベッティノ」
1410年4月5日-09:00|日本|静岡県掛川市|応永17年3月|明円見珠、鷄足山正法寺(高御所)開山
1410年4月15日-01:00|フランス| ||フランスの王族「ペリー公」ジャン1世、ワール溪谷沿いのジアンにブルボン公、アランソン公、クレモン伯、ブルターニュ公を集め、「反ブルゴーニュ派」の「大同盟」を結成
1410年5月3日-01:00|パチカン| ||<死去>ピサ対立教皇「アレクサンデル5世(ピエトロ・フィラルギ)」[1339年生~]
1410年5月18日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア| ||<死去>ドイツ王・イタリア王「ルプーレヒト」兼ツウアイブリュッケン公「ルプーレヒト2世」兼ライン宮中伯「ルプーレヒト3世」58歳(誕生13520505)
1410年5月18日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/フランス| ||<就任>神聖ローマ帝国教皇代理「ライン伯ハラティン「ルトヴイヒ3世」(1回目)」、「ザクセン伯ハラティン・ザクセン公「ルトルフ3世」(1回目)」(~10.1)
1410年5月18日-01:00|ドイツ| ||<就任>ライン宮中伯「ルトヴイヒ3世」(~14361230死去)
1410年5月18日-01:00|ドイツ| ||<即位>ツウアイブリュッケン公「フアルツ=ジツメルン家シュテファン」(~14590214死去)
1410年5月23日-01:00|ポーランド| ||<死去>チェシン公「フシェミツワ1世ノジャク」
1410年5月23日-01:00|ポーランド| ||<就任>チェシン公「ホレスワ1世」(~14310506死去)
1410年5月25日-01:00|パチカン| ||<就任>ピサ対立教皇「ヨハネス23世(パルダッサレ・コッサ)」(~14150530)
1410年5月31日-01:00|スペイン/イタリア| ||<死去><死去>アラゴン王兼サルデーニャ国王「マルティン1世」兼バルセロナ伯「マルティン1世」人文王・聖職者王兼アンブリアス伯兼シリア王「マルティン2世」/54歳
1410年5月31日-01:00|スペイン| ||<死去>バルセロナ伯「マルティン1世(人文王、聖職者王)」
1410年5月31日-01:00|スペイン| ||<就任>アンブリアス伯「Henry1世」(~14450615死去)
1410年6月9日-09:00|日本| ||応永17年5月7日|<死去>「斯波義将」61歳/室町幕府の重鎮(三度管領を努める)
1410年7月4日-09:00|日本|石川県輪島市|応永17年6月3日|<死去>能登総持寺前住の不見明見(今立郡興禅寺開山)
1410年7月6日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|応永17年6月5日|上醍醐普門院焼失
1410年7月10日-09:00|日本| ||応永17年6月9日|<解任>室町幕府管領「斯波義淳」
1410年7月10日-09:00|日本| ||応永17年6月9日|<任命>室町幕府管領「畠山満家」(~応永19(1412)年3月10日)
1410年7月15日-01:00|ドイツ/リトアニア/ポーランド| ||タンネンベルクの戦いでポーランド・リトアニア連合としてドイツ騎士団を破って西プロイセンを奪う
1410年8月10日-01:00|フランス| ||<死去>ブルボン公「ルイ2世」
1410年8月10日-01:00|フランス| ||<就任>ブルボン公「ジャン1世」(~14340205死去)
1410年8月10日-01:00|イタリア| ||ヴェネツィア、暴風雨の急襲がマストレのサン・ロレンツォの大市に向かう商人のうち300名の溺死者をうむ
1410年9月20日-01:00|ドイツ| ||<即位>ドイツ王「ジギスムント」カール4世の息子(⇒14330503神聖ローマ皇帝~14371209死去)
1410年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「パオルッチョのミケーレ」「聖ルカレ・イニ」
1410年10月1日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/フランス| ||<即位>神聖ローマ帝国皇帝・イタリア王「ヨープスト」ルクセンブルク公・ブランテンブルク選帝侯・モラヴィア辺境伯(~14110118死去)
1410年12月23日-09:00|日本|奈良県吉野郡吉野町|応永17年11月27日|後亀山法皇が幕府の処遇に不満を抱き、吉野に走る(後南朝の始り/194609帰洛)